

### Ⅲ 各学年・各教科の問題の構成とねらい及び結果分析

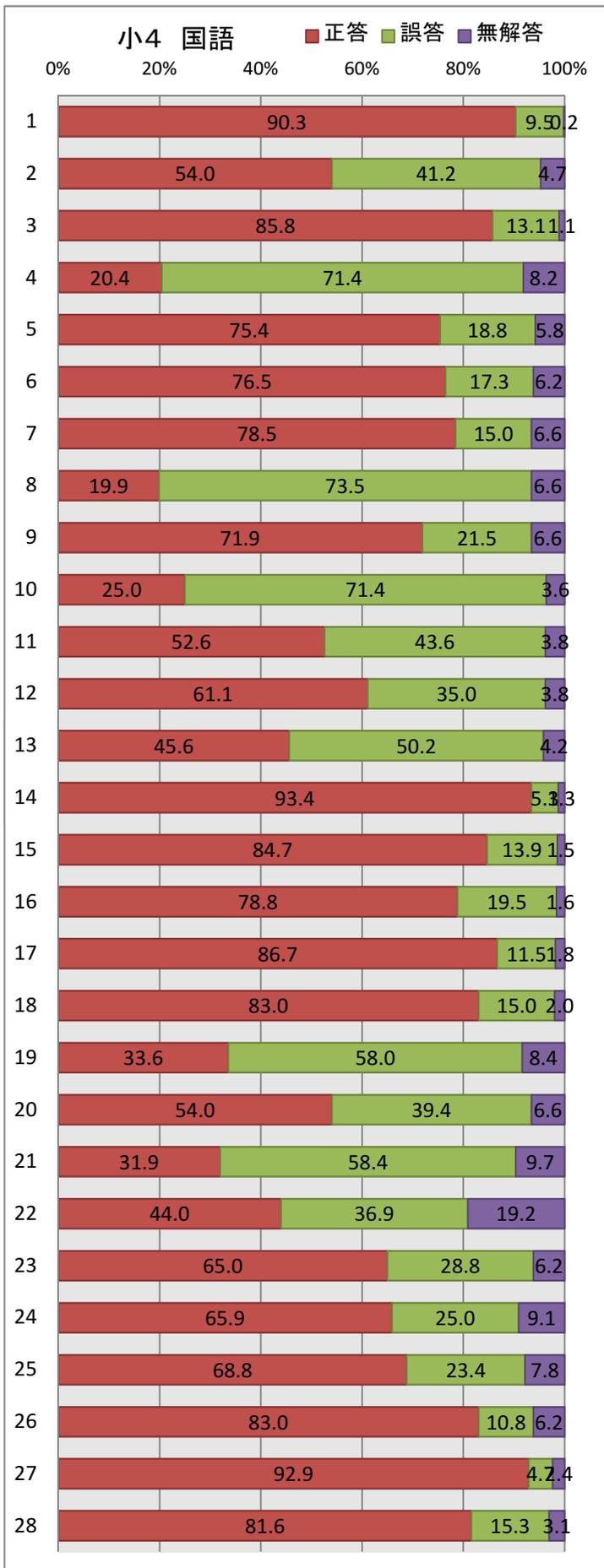
○問題の構成とねらい

4学年 国語

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 57.1	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				読む こと	書く こと	言語 事項			
説明文	[一](1)	1	文章の内容を読み取ることができる。	○			○	90	90.3
	[一](2)	2	文章の内容を読み取り、書くことができる。	○	○			65	54.0
	[一](3)	3	文章の内容を読み取ることができる。	○			○	80	85.8
	[一](4)	4	文章の内容を読み取り、書くことができる。	○	○			45	20.4
	[一](5)	5	文章の内容を読み取り、書くことができる。	○	○		○	65	75.4
	[一](5)	6	文章の内容を読み取り、書くことができる。	○	○		○	65	76.5
言語事項	[二](1)	7	漢字の部首がわかる。			○	○	60	78.5
	[二](2)	8	漢字辞典の使い方が分かる。			○		60	19.9
	[二](3)	9	漢字事典の使い方が分かる。			○	○	60	71.9
	[三](1)	10	修飾語のはたらきがわかる。			○		60	25.0
	[三](2)	11	修飾語のはたらきがわかる。			○	○	55	52.6
	[三](3)	12	修飾語のはたらきがわかる。			○	○	55	61.1
	[三](4)	13	修飾語のはたらきがわかる。			○		60	45.6
物語文	[四](1)あ	14	文章の内容から適切な擬態語を選べる。	○			○	80	93.4
	[四](1)い	15	文章の内容から適切な擬態語を選べる。	○			○	80	84.7
	[四](1)う	16	文章の内容から適切な擬態語を選べる。	○			○	80	78.8
	[四](1)え	17	文章の内容から適切な擬態語を選べる。	○			○	80	86.7
	[四](2)	18	文章の内容を読み取ることができる。	○				90	83.0
	[四](3)	19	文章の内容を読み取り、書くことができる。	○	○			45	33.6
	[四](4)	20	文章の内容を読み取ることができる。	○				70	54.0
	[四](5)	21	文章の内容を読み取り、理由を書くことができる。	○	○			40	31.9
言語事項	[五](1)	22	漢字を書くことができる。			○		70	44.0
	[五](2)	23	漢字を書くことができる。			○	○	70	65.0
	[五](3)	24	漢字を書くことができる。			○		75	65.9
	[五](4)	25	漢字を書くことができる。			○		75	68.8
	[五](5)	26	漢字を読むことができる。			○	○	80	83.0
	[六](1)	27	同じ意味の言葉の遣い方がわかる。			○	○	80	92.9
	[六](2)	28	同じ意味の言葉の遣い方がわかる。			○	○	70	81.6
目標値と市全体の平均値								64.7	59.3
				読む こと	書く こと	言語 事項			
「評価の観点」別 設定通過率の平均				69.6	54.2	66.4			
実通過率の平均				67.8	48.6	61.1			

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例

小学校4年生【国語】



通し番号	代表的な誤答例
1	7文字制限を意識せずに文中から書き抜き 文の途中から7文字書き抜き。
2	誤字脱字 タコまたはヤドカリの言葉がぬけている 食べると書いていない、短すぎる表記(11文字)。
3	ア ウ 記号でなく文で書いている
4	「しびれさせる」または「はりがとび出す」ことのみ 文末が～することになっていない 2文で書く 無答
5	「～たり。」と文の途中まで「つつく。引っぱる。はがす」まで記述 2つの事柄を1つにまとめて解答している 無答
6	「おしつける」とインゲンチャクを「つける」ところを記述 両方のはさみと書いていない 無答
7	えんによろ 建 丈
8	三 二
9	十一
10	ウ イ 複数記号表記
11	イ ア エ 複数記号表記
12	ア ウ 複数記号表記
13	ア ウ 複数記号表記
14	ちょこんと
15	のんびりと ちょこん 正しく書いていない
16	せかせか ふわっと 正しく書いていない
17	きちんと書き抜けない
18	文で解答
19	「こと」で終わってない 「ちょうのかわりに」がない 書き抜きのみで説明無し 無答 字数オーバー
20	句読点の打ち忘れ 漢字をひらがなに変えて表記 書き間違い
21	「から」で終わってない 「おどろいただろうなあ。～」心の中の言葉のみ 無答
22	働める、管める、勇めるなど文字違い 女と又が逆 又が力 無答
23	「分」だけ 「文類」「物類」 無答
24	「管」ができてない 管が1画少ない 無答
25	「暑い」 送りがなを書かない 無答
26	れいせい
27	ア 文で解答
28	イ ウ 文で解答

小学校4年生 国語

(1) 領域・小問ごとの通過率

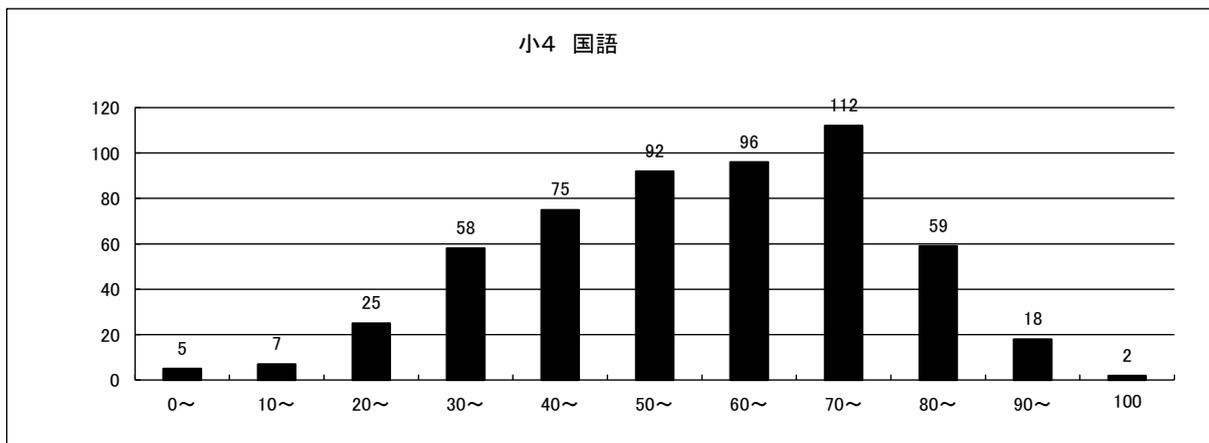
① 領域別の通過率の平均 [%]

領 域		H 2 8 4年1月実施	H 2 7 4年1月実施	H 2 6 4年1月実施
説明文	設定通過率の平均	68.3	73.2	56.4
	実通過率の平均	67.1	77.4	46.1
物語文	設定通過率の平均	70.6	58.3	69.2
	実通過率の平均	68.3	60.4	95.7
言語事項	設定通過率の平均	66.4	64.2	65.0
	実通過率の平均	61.1	72.7	58.8
合計	設定通過率の平均	64.7	64.3	61.6
	実通過率の平均	59.3	68.6	54.0

② 「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
読むこと	設定通過率の平均	69.6	67.9	62.3
	実通過率の平均	67.8	71.4	55.1
書くこと	設定通過率の平均	54.2	66.8	46.7
	実通過率の平均	48.6	66.2	33.0
言語事項	設定通過率の平均	66.4	64.2	65.0
	実通過率の平均	61.1	72.7	58.8

③ 得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ① 全体の実通過率は、59.3%であった。設定通過率を64.7%としていたが、5.4ポイント下回った。観点別に見ると、「読むこと」が1.8ポイント、「書くこと」が5.6ポイント、「言語事項」が5.3ポイント、いずれも設定通過率に及ばなかった。内容を読み取り、要点や理由を書く問題には、依然として課題が見られた。
- ② 領域別では、「説明文」「物語文」「言語事項」の3領域全てで設定通過率を下回った。全28問のうち、13問で設定通過率を上回っているものの、誤答率が正答率を大きく上回った問題が数問あり、全体として実通過率が低くなったと言える。

## (3) 領域・小問別の分析

### ①説明文（大問【一】）

- ・採用した文章は当市が使用している教科書の教材ではなかったが、無回答率は10%以下で、6問中4問で設定通過率を上回っていた。しかし、(2) (4)の文章での解答が必要な問題は設定通過率を大きく下回り、大問全体としては設定通過率にわずかに及ばなかった。
- ・最も実通過率が低かった(4)の「『このこと』が示す内容を、文章中の言葉を使って1文にして説明する」問題では、実通過率が20.4%に留まった。誤答例としては、「このこと」の前の2文の内容がきちんと具備されていない例や文末を「～こと」と結べていない例が多かった。読み取った内容を条件に従って再構成して書く力が求められるため、難問であったようである。(2)「タコのいる水そうにヤドカリを放すとどうなるか」を説明する問題では、誤字脱字に加え、指定された2語の使用や字数を守っていない回答が多かった。題意を的確に捉えきれていなかったためと考えられる。

### ②物語文（大問【四】）

- ・当市が使用している教科書にある教材の一部抜粋だったため、文中に使われていた擬態語を選択する(1)の4つの小問は無回答率も低く、4問中3問で設定通過率を上回った。しかし、文章で解答する問題は設定通過率を下回り、大問全体としては及ばなかった。
- ・誤答率が実通過率を大きく上回った(3)と(5)の問題では、文末を「～こと」「～から」で結んでいなかったり、語が不足していたりする誤答例が見られた。設定通過率を大きく下回った(4)の問題では、「スピードがあがっていく様子がわかる文」を書き抜く際に、句読点の打ち忘れや表記の間違いの誤答例が見られた。

### ③言語事項（大問【二】【三】【五】【六】）

- ・【二】(2)の漢字辞典の使い方についての問題では、「二」「三」という誤答例が大変多く、部首の画数を尋ねられていると考えた児童が多いと思われる。「部首の『互』の中の□画のところを探す」という問題文では題意をつかみにくかったようだ。【三】の被修飾語を記号で選ぶ問題では、(1)(2)ともに、修飾語の前に登場した語を選択している誤答例が多く、「修飾語－被修飾語」の関係がきちんと理解できてない児童が一定数いるものと思われる、何らかの指導上の工夫が必要である。

## (4) 今後の指導（授業）改善の視点

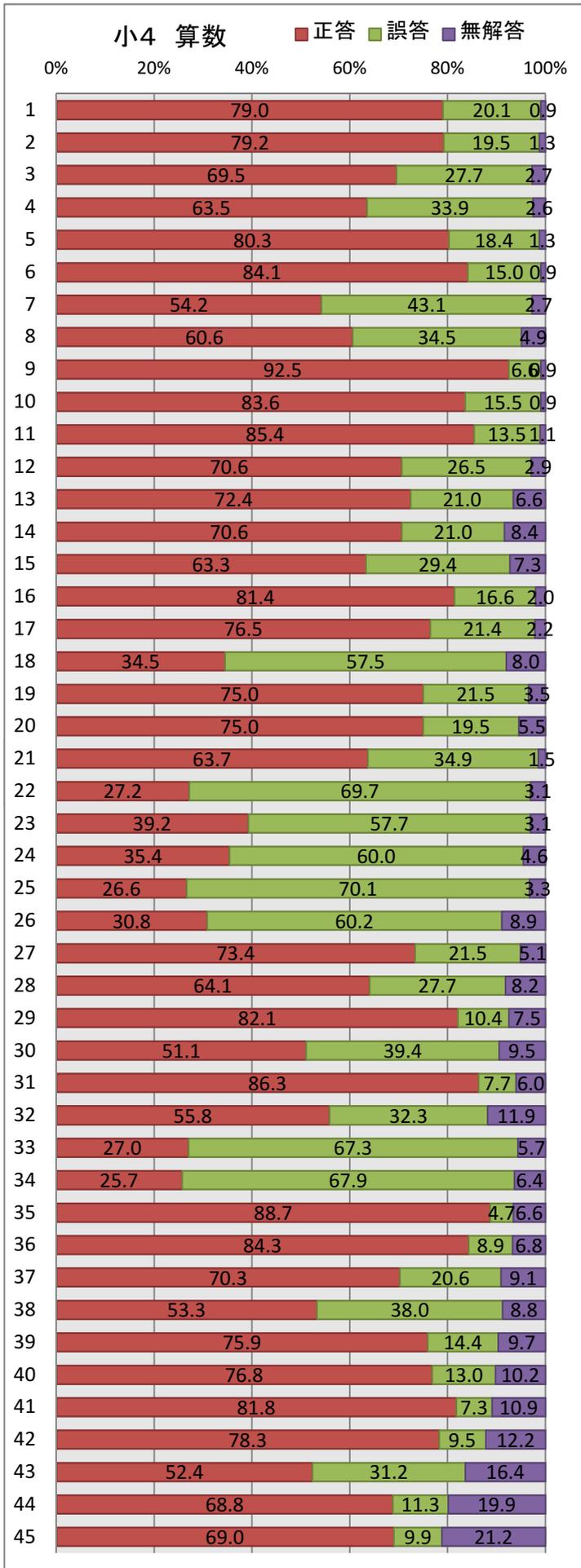
- ①「文章を正しく書き写す」、「字数やキーワード等の条件をつけて書く」、「理由を表す文末表現に留意して書く」等の活動を通常の授業で継続して取り入れ、評価を適切に行いながら、「書く」力を付けていけるようにしたい。
- ②題意を的確に捉える力を付けるため、単元を貫く言語活動の中で、「何を求められているか」を明確に意識させる習慣を付けていきたい。
- ③図書館を活用した授業や、朝読書・家庭読書等を継続してきたことにより、初めて出会う文章への抵抗は小さくなっている。今後も文章を読むことに慣れ親しませるようにしたい。

○問題の構成とねらい  
4学年 算数

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 77.8	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解			
数と計算	[1](1)	1	大きな数の書き方や仕組みがわかる。			○	○	70	79.0
	[1](2)	2	大きな数の書き方や仕組みがわかる。			○	○	60	79.2
	[1](3)	3	大きな数の仕組みがわかる。			○	○	70	69.5
	[1](4)	4	大きな数の仕組みがわかる。			○	○	60	63.5
	[2](1)	5	小数の表し方や仕組みがわかる。			○	○	75	80.3
	[2](2)	6	小数の表し方や仕組みがわかる。			○	○	80	84.1
	[2](3)	7	長さを小数で表すことができる。			○	○	30	54.2
	[2](4)	8	大きな数の計算の仕方がわかる。	○			○	50	60.6
	[3](1)	9	小数の加法計算ができる。		○		○	90	92.5
	[3](2)	10	小数の減法計算ができる。		○		○	80	83.6
	[3](3)	11	小数の加法計算ができる。		○		○	85	85.4
	[3](4)	12	小数の減法計算ができる。		○		○	65	70.6
	[4](1)	13	除数が1桁のわり算ができる。(3位数÷1位数)		○		○	70	72.4
	[4](2)	14	除数が2桁のわり算ができる。(3位数÷2位数 余りあり)		○		○	60	70.6
	[4](3)	15	除数が3桁のわり算ができる。(4位数÷3位数 余りあり)		○		○	65	63.3
	[5](1)	16	概数にすることができる。		○		○	75	81.4
	[5](2)	17	概数にすることができる。		○		○	70	76.5
	[5](3)	18	概数の意味がわかる。		○			45	34.6
数量関係	[6](1)	19	+と×が混じった計算ができる。		○		○	80	75.0
	[6](2)	20	×÷-( )が混じった計算ができる。		○		○	75	75.0
量と測定	[7](1)	21	1㎡=10000cm <sup>2</sup> の関係を理解している。			○	○	50	63.7
	[7](2)	22	教科書の面積の見当をつけることができる。	○				50	27.2
	[7](3)	23	いろいろな形の面積を求め比べることができる。	○			○	30	39.2
図形	[8](1)	24	条件にあった四角形を理解している。			○	○	40	35.4
	[8](2)	25	条件にあった四角形を理解している。			○	○	30	26.6
数量関係	[9](2)	26	分配法則を使って計算ができる。(完答)	○				50	30.8
図形	[10](1)あ	27	角の大きさの見当をつけることができる。	○			○	40	73.4
	[10](2)い	28	二本の直線が交わってできる角の大きさがわかる。			○		70	64.1
	[10](2)う	29	二本の直線が交わってできる角の大きさがわかる。			○	○	70	82.1
数量関係	[11](1)	30	資料を2観点に分類・整理した二次元表が読める。	○				75	51.1
	[11](2)	31	資料を2観点に分類・整理した二次元表が読める。	○			○	80	86.3
	[11](3)	32	資料を2観点に分類・整理した二次元表が読める。	○				70	55.8
	[12](1)月	33	2本の折れ線グラフを判別し読み取ることができる。		○			75	27.0
	[12](1)度	34	2本の折れ線グラフを判別し読み取ることができる。		○			60	25.7
	[12](2)月	35	2本の折れ線グラフを判別し読み取ることができる。		○		○	75	88.7
	[12](2)度	36	2本の折れ線グラフを判別し読み取ることができる。		○		○	60	84.3
[12](3)	37	2本の折れ線グラフを判別し読み取ることができる。		○			80	70.3	
数と計算	[13](3)	38	概数の加法計算の見積もりができる。	○			○	50	53.3
数量関係	[14](1)式	39	比較量と基準量から倍を求める式を作ることができる。	○			○	75	75.9
	[14](1)答	40	比較量と基準量から倍を求めることができる。		○		○	70	76.8
	[14](2)式	41	基準量と倍から比較量を求める式を作ることができる。	○			○	80	81.8
	[14](2)答	42	基準量と倍から比較量を求めることができる。		○		○	80	78.3
	[15](1)式	43	比較量、倍、基準量を表す式を作ることができる。	○			○	40	52.4
	[15](2)式	44	比較量と倍から基準量を求める式を作ることができる。	○				75	68.8
	[15](2)答	45	比較量と倍から基準量を求めることができる。		○		○	70	69.0
目標値と市全体の平均値								63.5	64.1

	思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解
「評価の観点」別 設定通過率の平均	58.8	71.5	58.8
実通過率の平均	58.2	70.1	65.1

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



小学校4年生【算数】

通し番号	代表的な誤答例
1	600304020000 60300402000
2	12000000028000 12000028000
3	500000000 50000000000
4	20500000000000000020000 20500 20500億
5	27 7
6	0.036 3.60
7	30.08 3.80 3.080 0.38
8	10 100
9	8.37 7.47
10	0.49 0.29 10.03
11	
12	51.93 0.83 2.17
13	16...3 160
14	18...4 106...4 16...2 15...1
15	800...200 80...200 8...2 8...200
16	70000 70300
17	1000000
18	750以上800未満 750以上840未満 755以上844未満 840以上850未満 750以上849未満 750以上805未満
19	320 1200
20	
21	100 1000
22	イ ア エ
23	C B
24	②を入れている 2つずつ選んでいない
25	③を入れている 2つずつ選んでいない
26	Aのみ正解でイ、ウ、エで誤答
27	② ④ 傾向なし
28	110 115 120 55
29	
30	にんじんがきらいでピーマンが好きの人
31	
32	4、10、12、20、22など多種
33	8月 1月
34	13度 14度 18度
35	
36	28度 26度
37	3月と4月の間 2ヶ月以上の間隔を記入 6月と11月 8月と11月
38	エ ウ
39	45×3 45-3 3÷45 3×45=135
40	135 42
41	130×4
42	615 520 26 5150
43	□×6、192÷6=□ 192×□ □×192 192÷6=32
44	192÷□ 192×6=1152
45	12 1152

## 小学校4年生 算数

### (1) 領域・小問ごとの通過率

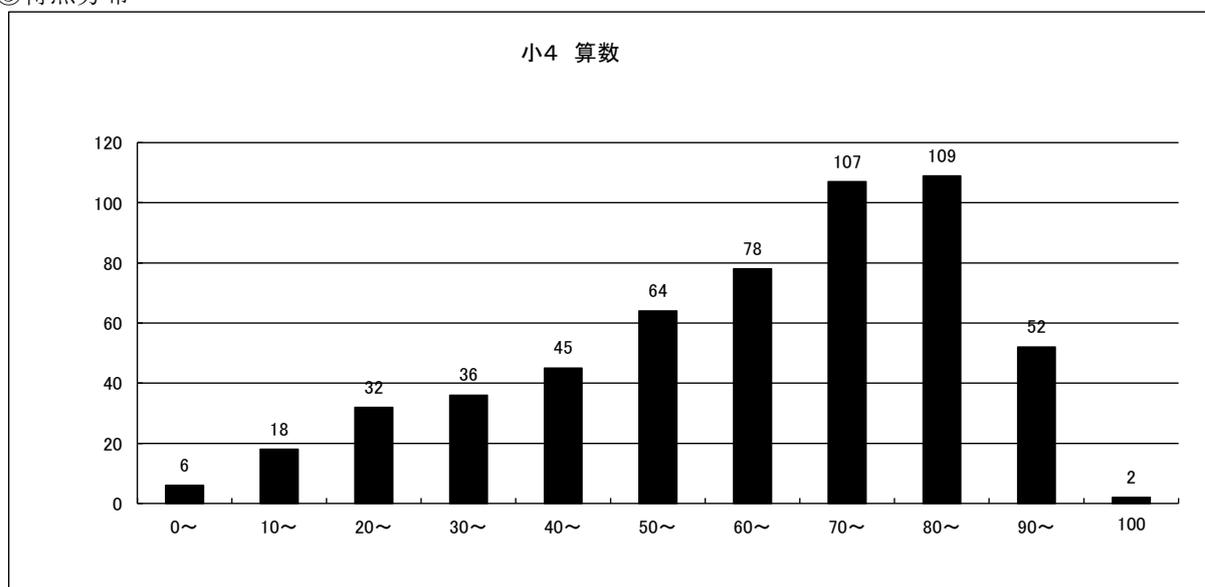
#### ① 領域別の通過率の平均 [%]

領 域		H 2 8 4 年 1 月 実 施	H 2 7 4 年 1 月 実 施	H 2 6 4 年 1 月 実 施
数と計算	設定通過率の平均	65.8	68.5	70.2
	実通過率の平均	71.3	66.0	69.7
図形	設定通過率の平均	50.0	58.0	76.7
	実通過率の平均	56.3	47.1	69.1
量と測定	設定通過率の平均	43.3	51.7	50.0
	実通過率の平均	43.4	66.2	66.1
数量関係	設定通過率の平均	70.6	66.8	64.1
	実通過率の平均	65.2	72.5	67.9
合計	設定通過率の平均	63.5	64.5	67.1
	実通過率の平均	64.1	65.8	68.2

#### ② 「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
思考・判断・表現	設定通過率の平均	58.8	58.6	55.8
	実通過率の平均	58.2	70.6	63.7
技能	設定通過率の平均	71.5	69.6	72.3
	実通過率の平均	70.1	70.2	74.0
知識・理解	設定通過率の平均	58.8	64.1	75.5
	実通過率の平均	65.1	54.1	64.8

#### ③ 得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ①全体の実通過率は、64.1%で、設定通過率63.5%とほぼ同じ値となった。評価の観点別に見ると「思考・判断・表現」は設定通過率58.8%に対し実通過率58.2%、「技能」は設定通過率71.5%に対し実通過率70.1%と設定通過率と実通過率がほぼ同じ値となった。「知識・理解」については、設定通過率58.8%に対し、実通過率65.1%となった。
- ②領域別の実通過率は、「数と計算」71.3%、「量と測定」43.4%、「図形」56.3%、「数量関係」65.2%となり、「量と測定」領域での実通過率が、他の領域と比べ低い結果となった。設定通過率が50%以下の応用的な問題を12問出題した。そのうち7問で設定通過率を上回った。

## (3) 領域・小問別の分析

- ①数と計算（大問【1】～【5】、【13】）
  - ・大きな数、小数の書き方や仕組みについては、「2050億を10倍した数数」を答える問題で20500億と表したり、3080mを30.08kmと換算したりする等、大きな数の仕組み（位取り）や単位の換算についての理解ができていない児童が多かった。
  - ・余りのある整数のわり算は、除数が1位数から2位数、3位数になるに伴って実通過率が下がっている。また、「7400÷900」の問題では、商を800としたり、余りを2と表したりする誤答が多いことから、商の立て方や最終的な余りの表し方を正しく理解できていない児童が多いものと思われる。
  - ・概数で表された数の範囲を整数で答える問題では、誤答と無解答とを合わせて65.5%となった。概数について逆思考で答える経験が少ないためであると考えられるが、概数の意味を理解させるためにも経験を積ませる必要がある。
- ②量と測定（大問【7】）
  - ・教科書の面積の見当を付ける問題では、設定通過率50%に対し通過率は27.2%であった。様々な生活場面において、面積に対する量感を養う経験を積む必要がある。
  - ・いろいろな面積を求め比べる問題は、実通過率が設定通過率より9.2ポイント高かった。
- ③図形（大問【8】【10】）
  - ・「2本の対角線がいつも垂直に交わる四角形」について長方形を選んだり、「2本の対角線の長さがいつも等しい四角形」についてひし形を選んだりする等、誤答が多く、条件にあった四角形を正確に選択できた児童は30%程度となった。対角線と図形との関係を正確に捉えられる児童が少ないことから、作図や四角形の特徴を調べる活動等を通して図形の性質を理解していく必要がある。
- ④数量関係（大問【6】【9】【11】【12】【14】）
  - ・四則の混じった計算は、2問とも実通過率が70%を超えたが、分配法則を使った問題は、通過率が30.8%となった。分配法則や結合法則について、具体的場面で数値を使って丁寧に指導をしていく必要がある。
  - ・2つの市の気温差が最も大きい月を答える問題では、実通過率が27.0%となり、設定通過率75%を大きく下回った。2つの折れ線グラフを判別し、目盛りを正確に読み取る力が必要である。
  - ・比較量・倍・基準量から立式する問題は、実通過率52.4%と設定通過率40%を上回ったが、「192×□」「□×192」と解答する等、比較量、倍、基準量の関係をかけ算で表すことに課題が残った。また、比較量と倍から基準量を求める問題（割合の第3用法）は、無解答が21.2%とやや多かった。昨年も同様の結果が見られたことから、4年生だけでなく、5・6年生においても割合の3用法（①割合<倍>を求める問題 ②比較量を求める問題 ③基準量を求める問題）を意識させながら、繰り返し練習をさせることが必要である。

## (4) 今後の指導（授業）改善の視点

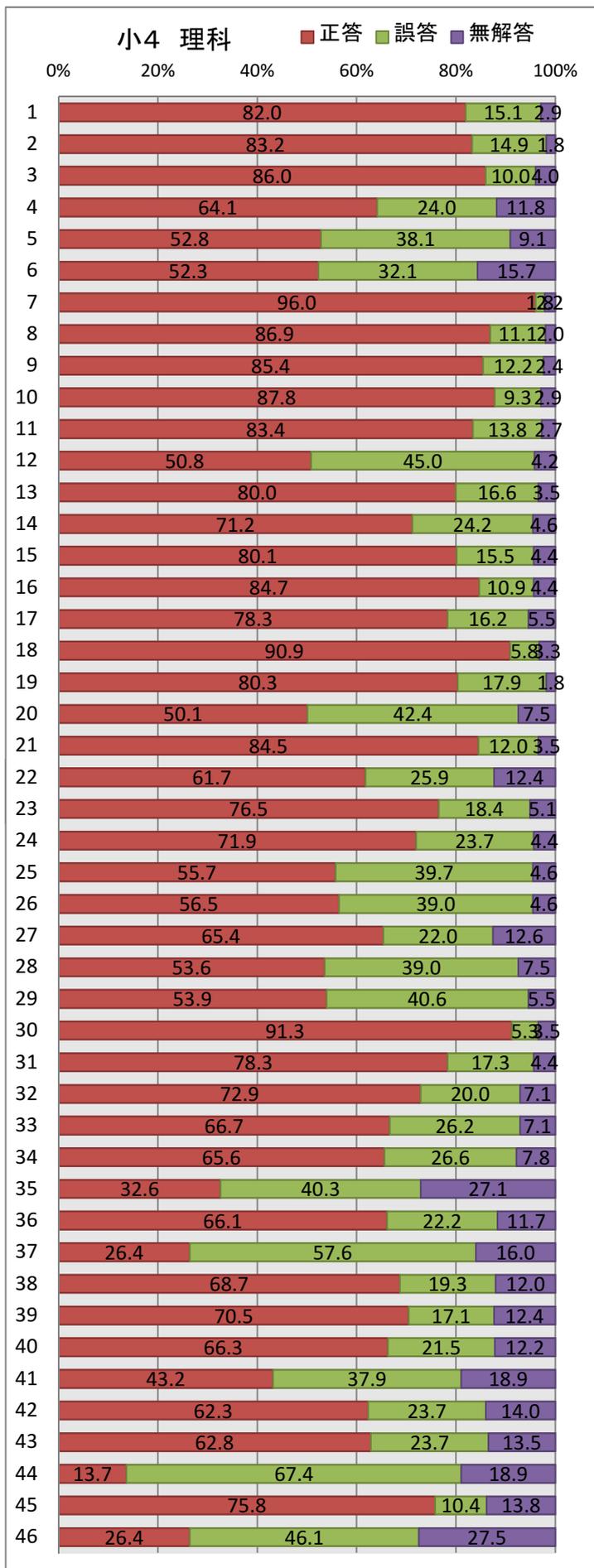
- ①大きな数、小数の書き方や仕組みについては、位取りを正確に理解し、数として表現できるよう、教具や教材を工夫しながら指導したい。また、わり算の商の立て方や余りの出し方等、児童のつまずきを理解した上で支援をしていく必要がある。
- ②条件にあった四角形を導き出す内容等については、作図や四角形の特徴を調べる活動から児童自らに図形の性質を発見させる等、算数的活動を大切にしながら図形に親しむ経験を積ませたい。
- ③5・6年の学習や中学校での学習への接続やつながりを意識しながら支援をしていきたい。特に、比較量・割合（倍）・基準量を求める割合の問題に関わる内容については、立式し、解答するだけでなく、その中で自分の考えを言葉や式で表すことに慣れさせる必要がある。習熟場面ではこの割合の問題の3つの用法を取り混ぜた出題なども必要である。その中で比較量・割合（倍）・基準量を更に明確に捉えることができるようになることを考える。

○問題の構成とねらい  
4学年 理科

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 69.6	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解			
生命	[1](1)①	1	植物の観察方法がわかる。		○		○	60	82.0
	[1](1)②	2	グラフから植物の成長の様子を読み取ることができる。		○		○	70	83.2
	[1](1)③	3	植物の成長の様子を気温との関係から読み取り文章で表現できる。	○			○	55	86.0
	[1](2)ア	4	夏のごん虫や植物の成長の様子がわかる。			○	○	65	64.1
	[1](2)イ	5	夏のごん虫や植物の成長の様子がわかる。			○		65	52.8
	[1](2)ウ	6	ツバメなど、ちがう国を行き来している「わたり鳥」がいることがわかる。			○		65	52.3
地球	[2](1)ア	7	気温を測定するときの観察方法が分かる。		○		○	75	96.0
	[2](1)イ	8	気温を測定するときの観察方法が分かる。		○		○	75	86.9
	[2](1)ウ	9	気温を測定するときの観察方法が分かる。		○		○	75	85.4
	[2](2)①	10	気温の変化をグラフで表すことができる。	○			○	65	87.8
	[2](2)②	11	気温の変化を読みとることができる。			○	○	75	83.4
	[2](2)③	12	1日の気温の変化と天気とを関係づけて考え、文章で表現できる。	○			○	55	50.8
エネルギー	[3](1)①ア	13	電池のつなぎ方と電流の大きさの関係を理解している。			○	○	70	80.0
	[3](1)①イ	14	電池のつなぎ方と電流の大きさの関係を理解している。			○	○	70	71.2
	[3](1)②	15	かんいけん流計の見方を理解している。			○	○	65	80.1
	[3](1)③ア	16	電池のつなぎ方の名称を理解している。			○	○	70	84.7
	[3](1)③イ	17	電池のつなぎ方の名称を理解している。			○	○	65	78.3
	[3](2)	18	光電池の性質について理解している。			○	○	65	90.9
粒子	[4](1)①	19	閉じ込められた空気を圧した時の体積変化の違いを理解している。			○	○	70	80.3
	[4](1)②	20	閉じ込められた空気の体積変化のしくみを文章で表現できる。	○				60	50.1
	[4](2)	21	閉じ込められた水を圧した時の体積変化の違いを理解している。			○	○	70	84.5
	[4](3)	22	閉じ込められた空気と水の体積変化の違いを理解し、文章で表現できる。	○			○	50	61.7
地球	[5](1)	23	星の明るさについて正しく理解している。			○	○	70	76.5
	[5](2)①A	24	夏の大三角を構成している星の名称を理解している。			○	○	50	71.9
	[5](2)①B	25	夏の大三角を構成している星の名称を理解している。			○	○	50	55.7
	[5](2)①C	26	夏の大三角を構成している星の名称を理解している。			○	○	50	56.5
	[5](2)②	27	星座の名称を理解している。			○	○	65	65.4
	[5](3)	28	星座早見の見方を理解している。			○		60	53.6
	[6](1)	29	月の動きを理解している。			○		65	53.9
	[6](2)	30	月の動きの観察方法がわかる		○		○	70	91.3
	[6](3)	31	月の動きを理解している。			○	○	70	78.3
生命	[7](1)①	32	筋肉・骨・関節の名称を理解している。			○	○	70	72.9
	[7](1)②	33	筋肉・骨・関節の名称を理解している。			○	○	70	66.7
	[7](1)③	34	筋肉・骨・関節の名称を理解している。			○	○	65	65.6
	[7](2)	35	骨と筋肉の関係を理解している。			○		50	32.6
	[7](3)	36	骨と筋肉の関係を理解している。			○	○	70	66.1
粒子	[8](1)	37	比かく実験のしかたを理解している。		○			50	26.4
	[8](2)①	38	空気・水・金属を冷やしたときの体積変化を理解している。			○		80	68.7
	[8](2)②	39	空気・水・金属を温めたときの体積変化を理解している。			○		80	70.5
	[8](3)	40	空気・水・金属の温度による体積変化を理解している。			○		80	66.3
	[8](4)	41	金属の温度による体積変化を文章で表現することができる。	○				60	43.2
	[9](1)	42	水の温まり方を理解している。			○		70	62.3
	[9](2)①	43	空気の温まり方の実験方法がわかる。		○		○	65	62.8
	[9](2)②	44	空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること(対流)がわかる。	○				60	13.7
	[9](3)	45	金属の温まり方を理解している。			○	○	70	75.8
	[9](4)	46	温められた空気は上の方にあがっていくことを文章で表現できる。	○				60	26.4
目標値と市全体の平均値								64.7	66.2

	思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解
「評価の観点」別 設定通過率の平均	58.1	67.5	66.7
実通過率の平均	52.5	76.8	68.7

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



小学校4年生【理科】

通し番号	代表的な誤答例
1	グラフに50cmに記入がない
2	6月5日～
3	成長にちょうどよいから
4	たまご 無答
5	花 無答
6	西 北 無答
7	
8	
9	日当たり 風
10	
11	1時と3時
12	グラフが山のよう、谷のよう・ 気温が低いから 気温が高いから
13	おそくなる 早くなる かわる
14	速くなる かわる
15	イ
16	
17	並列の誤記(平行)
18	
19	ア
20	引き抜いた体積がぬける。体積といっしょにある。体積が線を押ししている。体積がなくなる。
21	
22	水はかわらない。空気は体積があるから。水は体積がないから。無答。
23	イ
24	アルタイル デネブ
25	デネブ ベガ
26	アルタイル ベガ
27	とり座 さそり座 ゆみ座 夏の大三角
28	7月7日 7月21日 7月23日
29	午前4時 3時 無答
30	
31	
32	場所の欄に「うで」「ひじ」等の言葉を記載
33	場所の欄に「うで」「ひじ」等の言葉を記載
34	場所の欄に「うで」「ひじ」等の言葉を記載
35	自分の体を元気にしてくれる。曲げたり、まわしたりできる。無答。
36	ゆるんでいる。無答。
37	温度の変化を知るため。温度の位置がわかる。温度をはかる。無答。
38	小さくなる
39	大きくなる
40	空気 水
41	水で冷やされたことについて言及されていない。無答。
42	ア イ 無答
43	無答
44	回転 大きく左回り 3方向に分かれる 上方向のみ 無答
45	無答
46	中にある空気が軽くなったから。ビニール袋の中に空気が入っていたから。空気を閉じ込めたから。無答。

小学校4年生 理科

(1) 領域・小問ごとの通過率

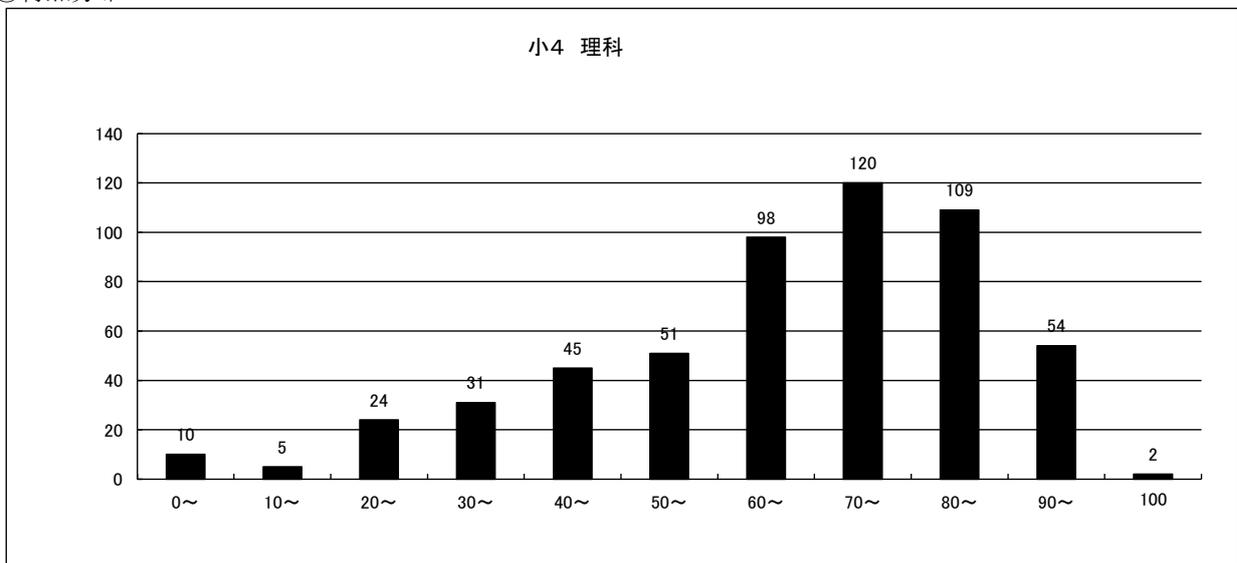
① 領域別の通過率の平均 [%]

領 域		H28 4年1月実施	H27 4年1月実施	H26 実施なし
生命・地球	設定通過率の平均			69.1
	実通過率の平均			63.3
物質・エネルギー	設定通過率の平均			71.9
	実通過率の平均			67.5
生命	設定通過率の平均	64.1	74.3	
	実通過率の平均	65.8	76.0	
地球	設定通過率の平均	64.7	67.6	
	実通過率の平均	72.9	70.2	
物質	設定通過率の平均		71.3	
	実通過率の平均		76.1	
エネルギー	設定通過率の平均	67.5	61.4	
	実通過率の平均	80.9	68.1	
粒子	設定通過率の平均	66.1		
	実通過率の平均	56.6		
合計	設定通過率の平均	64.7	68.2	69.8
	実通過率の平均	66.2	72.2	64.8

② 「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
思考・判断・表現	設定通過率の平均	58.1	65.4	57.7
	実通過率の平均	52.5	71.7	56.5
技能	設定通過率の平均	67.5	72.0	70.8
	実通過率の平均	76.8	80.0	65.9
知識・理解	設定通過率の平均	66.7	69.6	76.4
	実通過率の平均	68.7	70.3	69.5

③ 得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ① 全体の設定通過率64.7%に対して実通過率が66.2%と1.5ポイント高い結果となった。達成率は、全体として69.6% (32問/46問) であった。
- ② 評価の観点別では「思考・判断・表現」では設定通過率を5.6ポイント下回ったが、「技能」では9.3ポイント、「知識・理解」では2.0ポイント上回った。特に「技能」の観点では、観察・実験の方法についての問題は、実通過率80%以上の高い結果となった。
- ③ 理由を説明する問題の実通過率は26%~66%程度であり、課題が見られた。また、ものあたたまり方に関する問題についても実通過率が低く、課題が見られた。

## (3) 領域・小問別の分析

### ①生命・地球

#### <季節と生き物>【1】

- ・観察記録のグラフを記入することやグラフから植物の成長の様子を読み取る問題は、実通過率が80%以上と高い結果だったが、夏の昆虫や植物の成長の様子や渡り鳥に関する問題については、設定通過率より12ポイント程度低い結果となった。

#### <天気と気温>【2】

- ・気温の測定方法やグラフで表すこと、変化の読み取りについては実通過率がすべて80%を超えて良好だったが、気温の変化と天気とを関係付けて考え、文章で表現する問題については50.8%と設定通過率をやや下回った。判断の根拠を説明することに課題がある。

#### <星や月>【5】【6】

- ・夏の大三角の星の名称を選択する問題は実通過率が50%~60%と昨年度と同様の結果だった。星座早見の見方については設定通過率を6.4ポイント下回っており、課題が見られた。

#### <わたしたちの体の運動>【7】

- ・骨や筋肉の働きを答える問題については、実通過率が32.6%、無解答率も27.1%となっており、大きな課題が見られた。

### ②物質・エネルギー

#### <電池のはたらき>【3】

- ・電池の働きに関する設問については、すべて設定通過率70%を上回り、定着が図られている。

#### <とじこめた空気や水>【4】

- ・閉じ込められた空気の体積変化のしくみを文章で表現する問題については、実通過率が50.1%となっていた。体積という言葉の理解と説明の仕方に課題が見られた。

#### <ものの温度と体積>【8】

- ・文章で表現する問題の実通過率が26.4%、43.2%と低く、理由を説明することに課題が見られた。

#### <ものあたたまり方>【9】

- ・空気のあたたまり方を図示する問題については、実通過率が13.7%と最も低い結果となった。また、あたためられた空気が上に上がることを文章で説明する問題についても、実通過率が26.4%、無解答率が27.5%となっており、その事象についての理解が進んでいないことが分かった。

## (4) 今後の指導（授業）改善の視点

- ① 全体的に実通過率、達成率ともに高かったことから、普段の授業において、見通しを持って学習することで指導事項の定着が図られていると考えられる。今後も新大分スタンダードに基づく問題解決的な授業づくりを進め、確実な定着を図る必要がある。
- ② 文章記述の問題に課題があるので、普段の授業から、理由や根拠をもって説明する活動を意図的に多く設定するよう心がける。

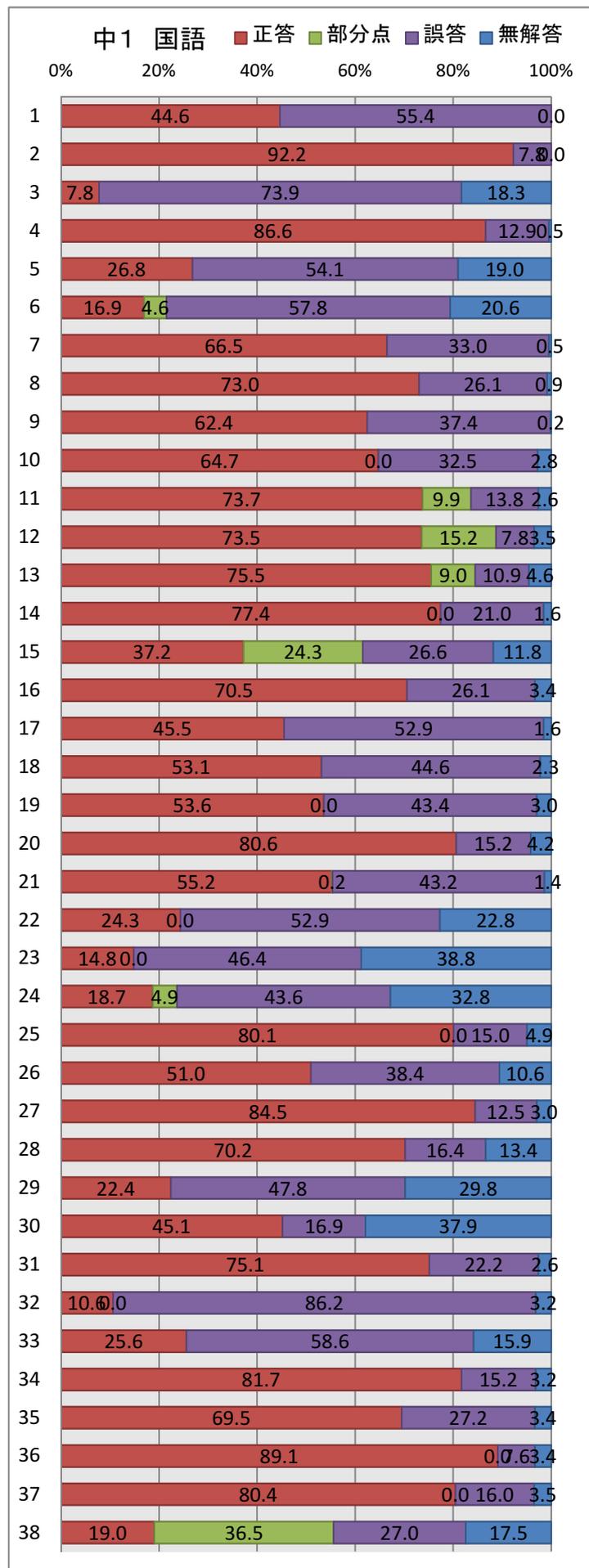
○問題の構成とねらい

1学年 国語

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 52.6	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				読む こと	書く こと	言語 事項			
文学的文章	[1](1)	1	文章の内容を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○				60	44.6
	[1](2)	2	文章の内容を的確に捉え、適切なものを選択することができる。			○	○	80	92.2
	[1](3)	3	文章の内容を的確に捉え、指示に従って書くことができる。	○				60	7.8
	[1](4)	4	文章の内容を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○			○	70	86.6
	[1](5)	5	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を抜き出すことができる。	○				40	26.8
	[1](6)	6	文章の内容を的確に捉え、指示に従って書くことができる。	○	○			30	19.6
	[1](7)	7	文章の内容を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○			○	70	66.5
	[1](8)	8	文章の特徴を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○			○	70	73.0
説明的文章	[2](1)	9	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を選択することができる。	○				80	62.4
	[2](2)	10	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を抜き出すことができる。	○				70	64.7
	[2](3)	11	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を抜き出しまとめることができる。	○			○	60	78.7
	[2](3)	12	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を抜き出しまとめることができる。	○			○	60	81.1
	[2](3)	13	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を抜き出しまとめることができる。	○			○	60	80.0
	[2](4)	14	文章の内容を的確に捉え、適切な段落と段落の関係を選択することができる。	○			○	60	77.4
	[2](5)	15	文章の内容を的確に捉え、適切な語句を使って書くことができる。	○	○		○	50	51.3
	[2](6)	16	段落の構成をとらえて、適切な場所に挿入することができる。	○			○	70	70.5
[2](7)	17	文章の特徴を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○				60	45.5	
[2](8)	18	文章の内容を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○				60	53.1	
古典	[3](1)a	19	文章の内容を的確に捉え、現代仮名遣いに直すことができる。			○		80	53.6
	[3](1)b	20	文章の内容を的確に捉え、現代仮名遣いに直すことができる。			○	○	70	80.6
	[3](2)	21	文章の内容を的確に捉え、適切なものを選択することができる。	○			○	60	55.3
	[3](3)	22	文章の内容を的確に捉え、適切な言葉を抜き出すことができる。	○				60	24.3
	[3](4)	23	文章の内容を的確に捉え、適切な言葉を抜き出すことができる。	○				60	14.8
[3](5)	24	文章の内容を的確に捉え、適切な言葉を使って書くことができる。	○	○			40	21.6	
言語事項	[4]	25	小学校六年までに学習した漢字を読むことができる。			○	○	70	80.1
	[4]	26	小学校六年までに学習した漢字を読むことができる。			○		70	51.0
	[4]	27	小学校六年までに学習した漢字を読むことができる。			○		90	84.5
	[4]	28	小学校六年までに学習した漢字を書くことができる。			○	○	70	70.2
	[4]	29	小学校六年までに学習した漢字を書くことができる。			○		50	22.4
	[4]	30	小学校六年までに学習した漢字を書くことができる。			○		60	45.1
	[4]	31	文節を正しく理解できる。			○	○	80	75.1
	[4]	32	単語を正しく理解できる。			○		70	10.6
	[4]	33	漢字の部分を組み合わせて熟語をつくり、部首名を書くことができる。			○		60	25.6
作文	[5](1)①	34	資料の内容を適切に捉え、特徴を選ぶことができる。	○			○	60	81.7
	[5](1)②	35	資料の内容を適切に捉え、特徴を選ぶことができる。	○			○	60	69.5
	[5](1)③	36	資料の内容を適切に捉え、特徴を選ぶことができる。	○			○	60	89.1
	[5](1)④	37	資料の内容を適切に捉え、特徴を選ぶことができる。	○			○	60	80.4
	[5](2)	38	自分の考えを条件にしたがってわかりやすく書くことができる。		○		○	50	45.3
目標値と市全体の平均値								61.2	54.4

	読む こと	書く こと	言語 事項
「評価の観点」別 設定通過率の平均	59.6	42.5	70.8
実通過率の平均	57.1	34.4	57.6

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



中学校1年生【国語】

通し番号	代表的な誤答例
1	エ ウ
2	
3	あとちょっとしかない 嬉しかった 自分を出していない
4	エ
5	一歩だけ だんだん 一步一步
6	「ハナをすする」の内容の不足 「僕の言葉に言い返す」の内容の不足
7	ア
8	ウ イ
9	ウ ア
10	コウモリ
11	完全解答でないものが多くあった
12	
13	
14	
15	文末が「～ので、から」になっていない。「胸体がずんぐりしている」の内容が抜けている。
16	2 5
17	ア イ
18	美香さん 健太さん 浩也さん
19	思う 思いて 思って
20	あげるように(余分な部分を書いている)
21	ア エ
22	「己が装束をば、みな召しつ」の部分が関わる解答(原文と現代文の取り違え)
23	これはどうしたことだ(現代語訳から抜き出している)
24	「身分の高い人にものを申し上げるようにかしまって答えたので」「着ていた衣装を全部脱いでたため、隠したところ」無答
25	
26	ふんしつぶつ いそんぶつ 遺・・・「けん」「き」
27	そんじゅう
28	無答 推利
29	無答 「歎」「勸」「集」 観集
30	無答
31	算用数字での解答 五 七
32	算用数字での解答 七 六
33	「やまいだれ」 起床(部首を答えていない) 無答
34	イ
35	ア
36	ア
37	オ
38	書き出しを一マス空けていない 無答 字数不足 文体・表現が整っていない 第1段落に人物を取り上げていない 第2段落で色彩について触れていない

## 中学校1年生 国語

### (1) 領域・小問ごとの通過率

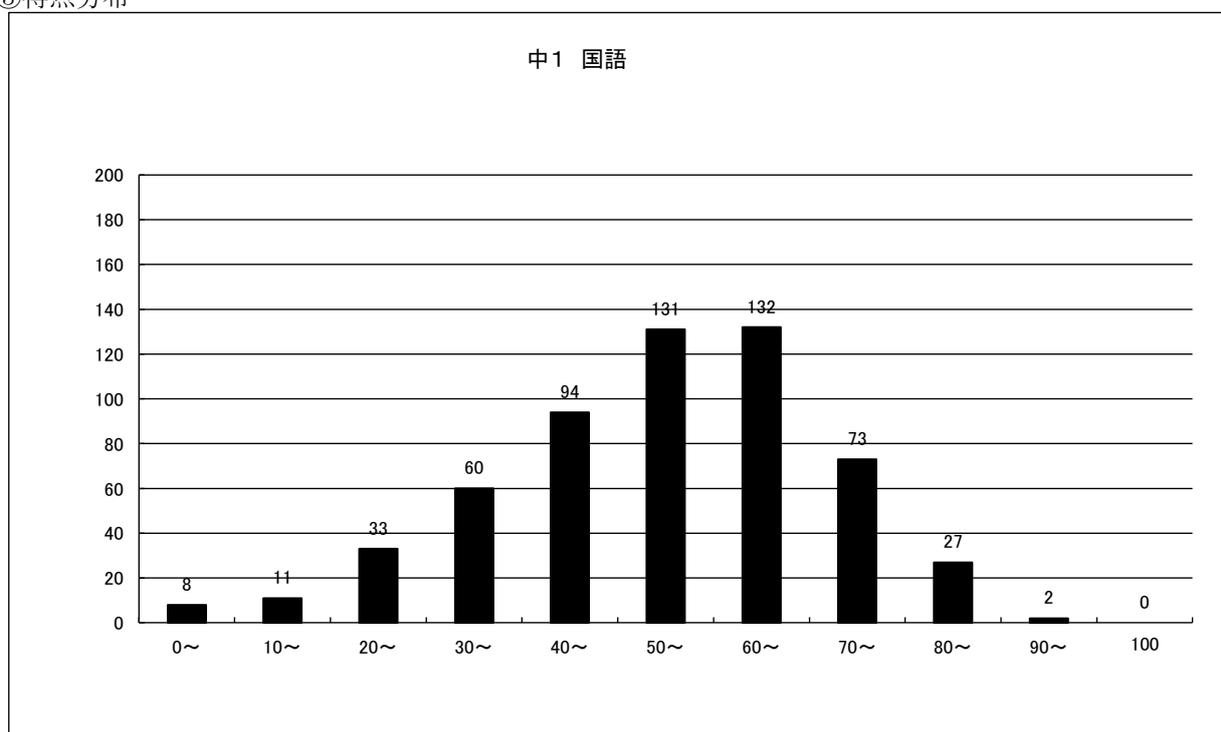
#### ① 領域別の通過率の平均 [%]

領 域		H 2 8 中 1 年 1 月 実 施	H 2 7 中 1 年 1 月 実 施	H 2 6 中 1 年 1 月 実 施
説明文 H25: 説明的文章	設 定 通 過 率 の 平 均	63.0	55.0	49.3
	実 通 過 率 の 平 均	66.5	49.3	45.5
文学的文章	設 定 通 過 率 の 平 均	60.0	64.4	59.4
	実 通 過 率 の 平 均	52.1	73.2	59.7
古文 H25: 古典	設 定 通 過 率 の 平 均	61.7	71.3	43.3
	実 通 過 率 の 平 均	41.7	63.0	34.9
作文	設 定 通 過 率 の 平 均	58.0	46.7	37.5
	実 通 過 率 の 平 均	73.2	36.7	37.3
言語事項	設 定 通 過 率 の 平 均	68.9	67.2	65.9
	実 通 過 率 の 平 均	51.6	61.6	70.9
合計	設 定 通 過 率 の 平 均	61.2	61.2	55.4
	実 通 過 率 の 平 均	54.4	58.7	55.3

#### ② 「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
読むこと	設 定 通 過 率 の 平 均	59.6	63.3	54.6
	実 通 過 率 の 平 均	57.1	61.2	53.4
書くこと	設 定 通 過 率 の 平 均	42.5	45.0	40.0
	実 通 過 率 の 平 均	34.4	43.0	35.2
言語事項	設 定 通 過 率 の 平 均	70.8	68.5	66.4
	実 通 過 率 の 平 均	57.6	63.8	70.8

#### ③ 得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ① 全体の実通過率は、54.4%であった。設定通過率を61.2%としていたが、6.8ポイント下回った。観点別に見ると、「読むこと」が2.5ポイント、「書くこと」が8.1ポイント、言語事項が13.2ポイント設定通過率よりも下回っている。条件に従って的確に書き表す等の記述力には、依然として課題が見られた。
- ② 領域別では、古典の内容理解に課題が見られた。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直したり、現代語訳と照らし合わせながら原文を読み取り理解を深めたりするなど、基礎的な力の定着を図る必要がある。中学校1年生は、古典学習の入門期にあたるため、文語のきまりを知り、古典の世界に親しむこと等を重視した指導が求められる。

## (3) 領域・小問別の分析

- ① 文学的文章（大問【1】）
  - ・問三の「文章の内容を的確にとらえ、指示に従って書く」にあたる設問の、実通過率は7.8%であり、無解答率が18.3%であった。文章中の登場人物の行動やその時の気持ちを追いながら読み進め、問われている行動の背景に込められた深い心情を読み取る力が必要である。同様に、問六においても、内容の的確な捉えができておらず、解答内容の不足による誤答が多かったため実通過率が16.9%となった。
- ② 説明的文章（大問【2】）
  - ・説明的文章の設問において、設定通過率と実通過率との間に30ポイント以上の大幅な開きは見られなかったが、問七の「文章の内容を的確にとらえ、適切なものを選択することができる」設問では、設定通過率60%に対し実通過率45.5%であった。説明的文章の構成をとらえた上で、筆者の主張等を正確に読み取る力を日頃から培う必要がある。
- ③ 古典（大問【3】）
  - ・問三、問四の「文章の内容を的確に捉え、適切な言葉を抜き出すことができる」設問では、実通過率がそれぞれ24.3%、14.8%であり、問五の「文章の内容を的確に捉え、適切な語句を使って書くことができる」設問では、実通過率が21.6%であった。また、問四、問五の無回答率が38.8%、32.8%となった。登場人物の様子や会話を正確に把握するために、原文中の指示語と指示された内容を捉える力、現代語訳と対応させながら物語の展開やおもしろみを読み取る力などが求められる。
- ④ 言語事項
  - ・問四の「単語を正しく理解できる」設問では、実通過率が10.6%と、設定通過率を59.4ポイント下回った。単語の数が「八」であるところを「七」「六」とする誤答が多いことから、文節の理解とともに単語の意味や区切り方についての定着を図る必要がある。
  - ・問五の「漢字の部分を組み合わせて熟語をつくり、部首名を書く」設問では、実通過率が25.6%となった。問題文の正確な把握とともに、漢字の部首を知識として定着させる必要がある。
- ⑤ 作文
  - ・問二は「付箋メモを参考にして、美術作品を見た鑑賞文を条件に従って書く」設問であった。段落構成、段落ごとの使用語句、字数制限といった条件に従って、作品に描かれた場面の説明、作品を見た感想を記述する問題である。字数不足、条件を満たしていない等の誤答が多かったことから、与えられた条件を記述に反映させ、自分の考えを明確にして書く力が必要となる。また、文章を構成する力、文体・表現の統一など、作文を書く際の基本的事項の習得が望まれる。

## (4) 今後の指導（授業）改善の視点

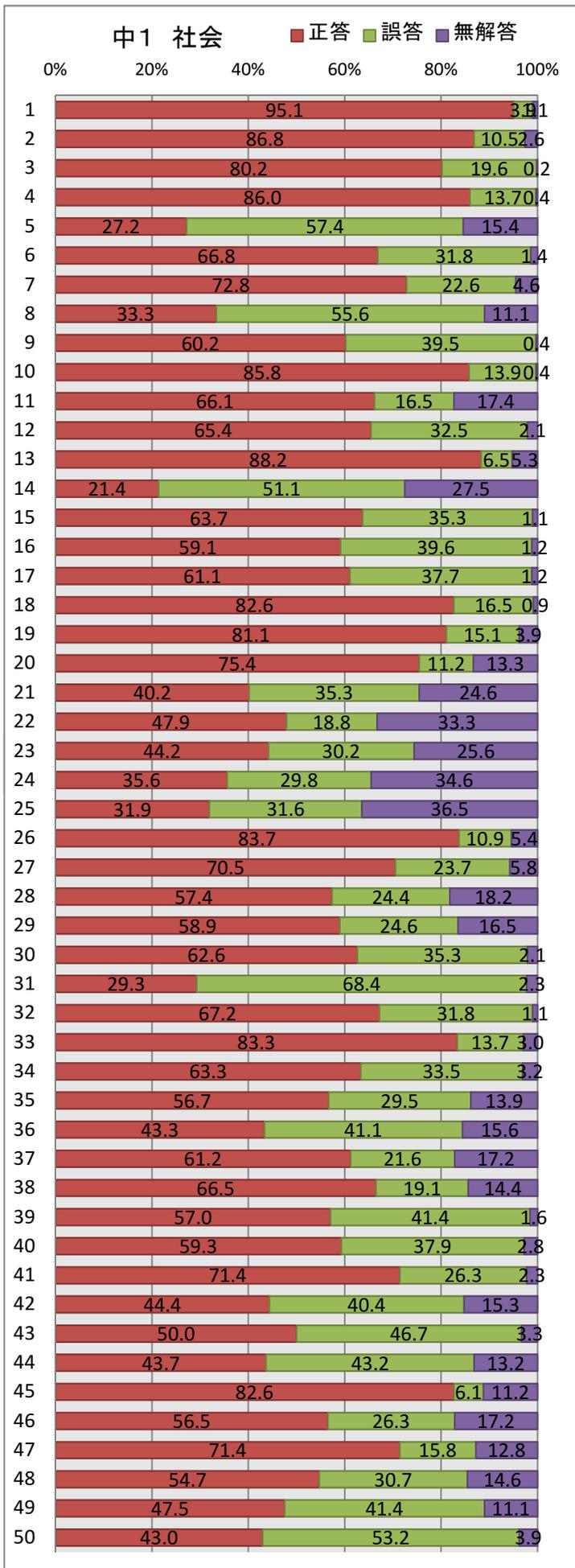
- ① 「読むこと」の指導においては、比較的長い文章の中で、描写からわかる登場人物の心情について話し合ったり、文章に表れている見方や考え方についてまとめたりする学習場面を意図的に取り入れる。また、課題解決に向かうための目的や、相手意識を明確に持たせながら、主体的に意欲的に読ませる工夫が必要である。
- ② 「書くこと」の指導においては、単元を通して指導すべき事項の重点化を図ることが大切である。目的や意図に応じて自らの主張を書く機会を多く取り入れたり、様々な条件や様式に従って書く活動を系統的に組み立てたりして指導することが望ましい。
- ③ 国語科で獲得すべき語句を文脈上の意味を意識して使用させることや、豊かな語彙や語感を磨き、表現技法等を正しく身に付けさせることが必要である。

○問題の構成とねらい  
1学年 社会

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 56.0	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				思考 判断 表現	技能	知識 ・ 理解			
世界のすがた(世界の地域構成)	[1](1)	1	赤道について理解している。			○	○	75	95.1
	[1](2)	2	南半球の大陸について理解している。			○	○	70	86.8
	[1](3)	3	本初子午線の位置を理解している。		○	○	○	50	80.2
	[1](4)	4	本初子午線が通過する都市について理解している。			○	○	60	86.0
	[1](5)	5	地球儀上で、緯度経度を正しく表現できる。	○	○			50	27.2
世界各地の人々の生活と環境	[2](1)	6	気候グラフから気候帯を正しく判断できる。	○	○		○	50	66.8
	[2](2)	7	気候帯の特徴を理解している。			○	○	60	72.8
	[2](3)	8	地中海性気候の特徴を理解している。			○		60	33.3
	[2]①	9	偏西風の影響による温帯の気候について理解している。			○		70	60.2
	[2]②	10	季節の変化がはっきりしている温帯の気候について理解している。			○	○	70	85.8
世界の諸地域	[3](1)	11	経済特区の特色と都市を理解している。		○	○		75	66.1
	[3](2)	12	中国の工業化が沿岸部分に集中していることを理解している。	○	○		○	50	65.4
	[3](3)	13	一人っ子政策について理解している。			○	○	75	88.2
	[3](4)	14	中国のGDP分布図からその原因を判断し、表現できる。	○	○			45	21.4
	[3](5)A	15	混合農業について分布を正しく判断することができる。	○	○		○	50	63.7
	[3]B	16	酪農について分布を正しく判断することができる。	○	○		○	50	59.1
	[3]C	17	地中海式農業について分布を正しく判断することができる。	○	○		○	60	61.1
	[3](6)	18	EU加盟国間の利点について理解している。	○		○	○	70	82.6
	[4](1)	19	帯グラフの見方について理解し、カカオ豆の生産国と結びつけて判断することができる。	○	○		○	60	81.1
	[4](2)①	20	アフリカ州の歴史的経過について理解している。	○		○	○	65	75.4
	[4](2)②	21	アフリカ州の大規模経営の農業について理解している。	○		○		50	40.2
	[4](2)③	22	アフリカ州の経済の特色について理解している。	○		○	○	50	47.9
	[4](2)④	23	アフリカ州の協力組織について理解している。	○		○		50	44.2
	[4](3)	24	北アメリカ州のサンベルト地帯について理解している。			○		60	35.6
	[4](4)	25	北アメリカ州のシリコンバレーについて理解している。			○		60	31.9
古代国家の成立と東アジア	[5](1)①	26	人類の進化の過程について理解している。			○	○	70	83.7
	[5](1)②	27	世界の文明の共通項目について理解している。			○	○	55	70.5
	[5](1)③	28	中国の文明における秦の皇帝について理解している。			○		70	57.4
	[5](1)④	29	ギリシャ文明に続くヨーロッパの文明について理解している。			○		70	58.9
	[5](2)	30	世界の文明の特徴について理解し、正誤について判断することができる。	○		○	○	50	62.6
	[5](3)	31	漢の特色について理解し、正誤について判断することができる。	○		○		60	29.3
	[5](4)	32	イスラム教の特色について理解し、正しい組み合わせを判断できる。	○		○	○	60	67.2
	[6](1)	33	縄文土器の特徴を理解している。			○	○	70	83.3
	[6](2)完答	34	縄文と弥生時代の違いを判断して、正しく選択できる。	○	○			70	63.3
	[6](3)	35	ムラどおしの争いの結果、柵や壕を作ったことを理解し、文章で表現できる。	○		○	○	60	56.7
	[6](4)	36	邪馬台国の女王と様子を理解している。			○		70	43.3
	[6](5)	37	遺物の銘文からヤマト王権の大王を判断することができる。	○	○		○	60	61.2
	[7](1)	38	十七条の憲法の条文を理解している。			○		75	66.5
	[7](2)	39	十七条の憲法のめざす社会や国家について理解している。	○		○		70	57.0
	[7](3)①	40	壬申の乱の対立関係とその後について理解している。			○	○	50	59.3
	[7](3)②	41	大化の改新の対立関係とその後について理解している。			○	○	60	71.4
	[7](4)	42	大宝律令について理解している。			○		65	44.4
	[7](5)	43	墾田永年私財法について理解し、その後の変化について正しく判断できる。	○		○		60	50.0
	[7](6)①	44	天平時代の文化について理解している。			○		50	43.7
	[7](6)②	45	国際色豊かな文化について理解し、その伝達方法について判断できる。		○	○	○	60	82.6
	[8](1)	46	平安京について理解している。			○		75	56.5
	[8](2)	47	国風文化について理解している。			○	○	70	71.4
	[8](3)	48	源氏物語について理解している。			○		70	54.7
	[8](4)	49	藤原氏の全盛期の理由について理解し、表現できる。	○		○	○	45	47.5
	[8](5)完答	50	仏教の歴史について理解し、正しく並べ替えることができる。	○		○		50	43.0
目標値と市全体の平均値								61	60.9

	思考 判断 表現	技能	知識 ・ 理解
「評価の観点」別 設定通過率の平均	55.9	56.2	62.6
実通過率の平均	55.4	61.5	61.8

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



中学校1年生【社会】

通し番号	代表的な誤答例
1	
2	
3	C
4	A
5	西経が書けていない 南緯、西経は書けているが、度数が間違い
6	あ う い
7	乾燥帯 温帯
8	ツンドラ 砂漠気候 乾燥気候 砂漠 温暖湿潤
9	イ
10	A イ
11	工業特区 工業地区
12	え う
13	一人子政策 「政策」が「制策」になっている。
14	沿岸部と内陸部の格差が大きい(工業・農業の記述なし) 無答 産業の違いを書けていない解答が多い
15	A ウ
16	ウ イ
17	A
18	イ A
19	アフリカ
20	
21	混合農業 商品作物農業
22	
23	au(小文字) EU ASEAN
24	無答
25	無答 サンフランシスコ グレートプレーンズ
26	猿の誤字多い
27	弥生時代 飛鳥時代
28	
29	
30	A エ
31	A イ ウ
32	E
33	弥生土器 弥生
34	A B
35	人口が増えた 争い 大王が生まれた 集落や人口が増えた
36	大和朝廷 倭国
37	
38	冠位十二階
39	ウ A
40	B A
41	B C
42	律令国家 律令
43	ウ A
44	飛鳥 飛鳥文化
45	
46	平城京 無答
47	飛鳥 天平文化
48	源字物語(誤字多い) 枕草子
49	自分の娘を天皇のきさきにした(その子供を天皇にするの一文がない)
50	イ→ウ→ア イ→ア→ウ

## 中学校1年生 社会

### (1) 領域・小問ごとの通過率

#### ① 領域別の通過率の平均 [%]

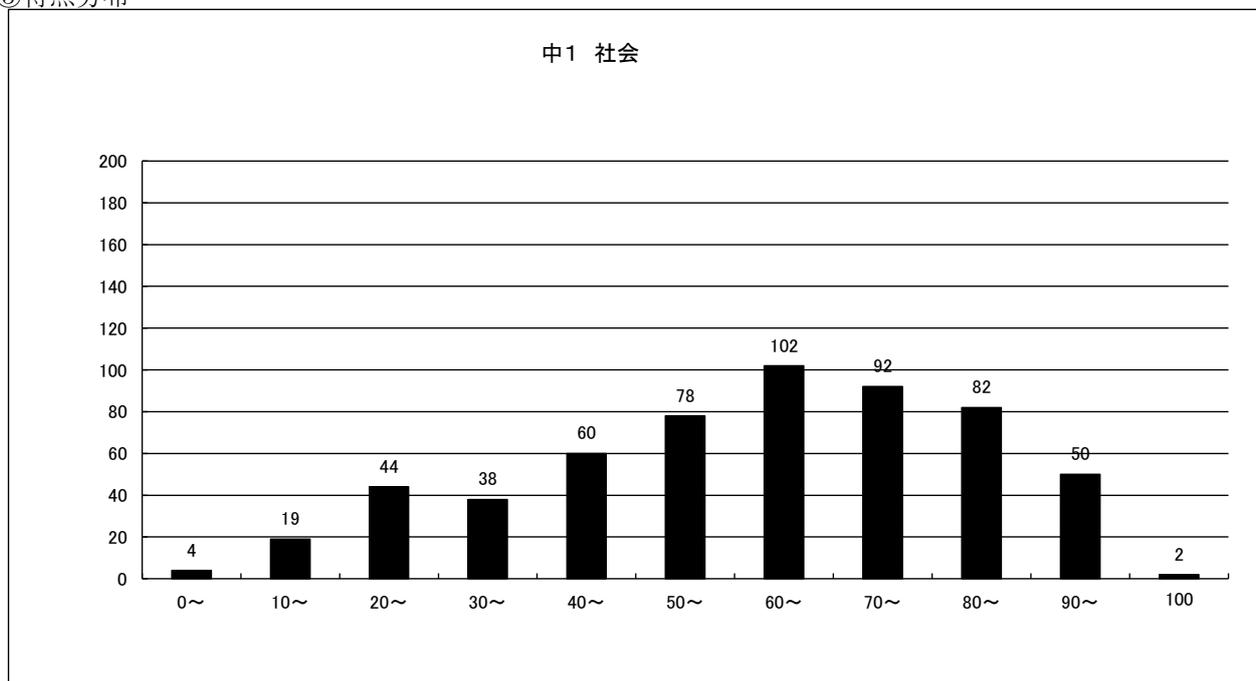
領 域		H28 中1年1月実施	H27 中1年1月実施	H26 中1年1月実施
世界のすがた	設定通過率の平均	61.0	62.0	67.2
	実通過率の平均	75.1	57.4	69.7
世界各地の人々の生活と環境	設定通過率の平均	62.0	66.1	53.8
	実通過率の平均	63.8	60.1	49.5
世界の諸地域	設定通過率の平均	58.0	57.7	57.5
	実通過率の平均	57.6	45.2	55.9
古代国家の成立と東アジア	設定通過率の平均	62.6	60.0	59.1
	実通過率の平均	59.4	53.0	55.0
合計	設定通過率の平均	61.0	60.8	59.0
	実通過率の平均	60.9	53.0	56.7

※領域については教科書や扱う時期が変わったことから、おおよその内容で過去と対比させている

#### ② 「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
思考・判断・表現	設定通過率の平均	55.9	53.6	53.4
	実通過率の平均	55.4	44.8	52.4
技能	設定通過率の平均	56.2	55.8	55.2
	実通過率の平均	61.5	45.6	53.7
知識・理解	設定通過率の平均	62.6	64.5	59.3
	実通過率の平均	61.8	58.3	56.4

#### ③ 得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ①全体の実通過率は60.9%で、設定通過率61%を約0.1ポイント下回った。「評価の観点別」に見ると「思考・判断・表現」の実通過率が55.4%で設定通過率を0.5ポイント下回り、「技能」の実通過率は61.5%で、設定通過率を5.3ポイント上回っている。「知識・理解」は、設定通過率62.6%に対し実通過率61.8%であった。
- ②実通過率が設定通過率の－5ポイント以上で生徒の解答状況が「良好」と判定された問題は地理的分野では25問中16問、歴史的分野では25問中12問となった。他方、全50問中14問で実通過率が50%を割った。
- ③記述式問題の2問は、歴史的分野に関する問題が47.5%の実通過率であったことに対し、地理的分野に関する問題の実通過率21.4%と低かった。無解答率30%を超える問題が3問あり、すべて地理的分野に関するものだった。

## (3) 領域・小問別の分析

### ①世界のすがた（大問【1】）

- ・緯度や経度についての基礎的基本的な知識理解を問う問題は、4問すべてが80%以上の実通過率で、内容の定着度の高さが伺えた。地図上での本初子午線を地球儀上で表す問題は、実通過率が設定通過率を30.2%と上回っており、地図や地球儀を活用した学習の定着が伺えた。しかし、緯度と経度を正しく答える問題では、西経の記述不足、度数の間違いが多かったので、緯度経度を使って位置を表現する学習を増やす必要がある。

### ②世界各地の人々の生活と環境（大問【2】）

- ・世界の気候についての基礎的基本的な知識理解を問う問題では、いずれも設定通過率を10ポイント以上上回っている。また、雨温図から必要な情報を読み取る問題は設定通過率を16.8ポイント上回っており、基礎的基本的な知識理解と技能についてはおおむね定着している。しかし、気候の特徴を選択する問題では、設定通過率の26.7%下回っているため、気候の特徴について、人々の生活の様子や気候と産業の特徴等と関連付けて指導する必要がある。

### ③世界の諸地域（大問【3】【4】）

- ・アジア州とヨーロッパ州の地理的事象についての基礎的基本的な知識理解を問う問題は、いずれも実通過率が80%を超えているが、アフリカ州と北アメリカ州の問題の実通過率は30～40%と低く、定着が不十分である。
- ・中国のGDP分布図から、その原因を判断し表現する問題の実通過率は21.4%で地理的分野の中で最も低い値だった。社会的背景や因果関係について、グラフや分布図等の資料をもとに説明する学習を工夫していく必要がある。また、同問題において、「工業、農業の言葉がない」や「産業を書けていない」などの誤答や無回答が目立ったため、自分の考えをまとめて表現する機会を意図的に設定し、継続的に表現力を高めていくことも必要である。

### ④古代国家の成立と東アジア（大問【5】）

- ・歴史的事象についての基礎的基本的な知識理解を問う問題では、実通過率が設定通過率を上回るものが多かったが、漢字の誤記が多いため、基礎的基本的な内容を定着させるために、家庭学習等を活用した復習を徹底していくことが必要である。
- ・海外の歴史的事象についての知識理解を問う問題は、実通過率が特に低く、漢の特色について正誤を判断する問題の実通過率は29.3%で、歴史的分野の中で最も低い値だった。海外の歴史的事象についての学習では、同時期の日本における歴史的事象と関連付けて因果関係を考えさせ、より深い理解に繋げる必要がある。
- ・邪馬台国の女王と様子についての知識理解を問う問題では、実通過率が設定通過率を26.7%下回っており、同じ知識についても問い方が変化すると対応できない生徒が増える傾向が表れた。歴史的事象について語句を暗記するだけでなく、自分の言葉で説明する学習を設けるなどの工夫が必要である。
- ・仏教の歴史についての事柄を並び替える問題の実通過率は43%で、歴史的分野の中で2番目に低く、歴史の流れを大きく捉える学習が不足していると考えられる。

## (4) 今後の指導（授業）の改善の視点

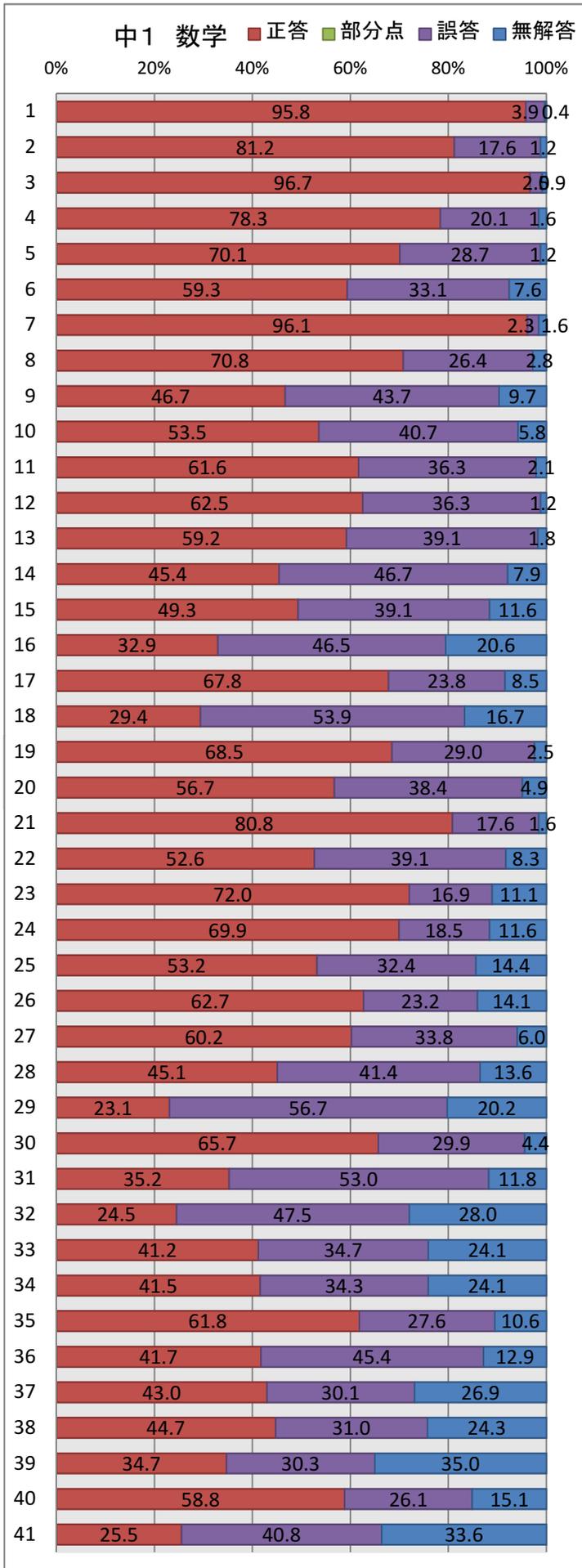
- ①地理的分野については、地図やグラフ、主題図等から情報を読み取り、まとめ、表現する活動や自分の考えを他者と練り合う場面を設定し、地理的事象をより深く理解する力を育成していく必要がある。
- ②歴史的分野については、世界の歴史について、日本の歴史と関連付けて考え、因果関係を理解させる必要がある。また、歴史の大きな流れを理解させるために、歴史的事象や時代の特徴を自分の言葉でまとめ、表現する場面を設定する必要がある。

○問題の構成とねらい  
1学年 数学

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 58.5	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解			
数と式	[1](1)	1	正負の数の加減ができる。		○		○	85	95.8
	[1](2)	2	正負の数の加減ができる。		○		○	80	81.2
	[1](3)	3	正負の数の除法ができる。		○		○	90	96.7
	[1](4)	4	正負の数の四則計算ができる。		○		○	70	78.3
	[1](5)	5	累乗を含む正負の数の乗法ができる。		○		○	60	70.1
	[1](6)	6	正負の分数の乗除ができる。		○		○	60	59.3
	[1](7)	7	文字式の加減ができる。		○		○	95	96.1
	[1](8)	8	1次式の加減ができる。		○		○	70	70.8
	[1](9)	9	分数の形の一次式と数の乗法ができる。		○			55	46.7
	[1](10)	10	分配法則を用いて1次式の加減ができる。		○			60	53.5
	[2](1)	11	正負の符号の意味を理解している。		○			85	61.6
	[2](2)	12	正負の数の大小関係を理解している。			○		80	62.5
	[2](3)	13	絶対値の意味を理解している。			○	○	45	59.2
	[2](4)	14	1元1次方程式を解くことができる。		○			65	45.4
	[2](5)	15	文字を使った式が表す数量を読み取ることができる。	○				60	49.3
	[2](6)	16	数量をきまりに従って文字を使って表すことができる。	○	○			55	32.9
	[2](7)	17	数を文字に代入することで、式の値を求めることができる。		○			75	67.8
	[2](8)	18	数量の大小関係を文字を使った不等式で表すことができる。	○	○			45	29.5
	[3](1)	19	正の数と負の数で表された、身の回りの様々な事象を理解することができる。			○		85	68.5
	[3](2)	20	正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象を思考・判断することができる。	○			○	60	56.7
	[4](1)	21	規則性を見つけ、数量を求めることができる。			○	○	85	80.8
	[4](2)	22	数量の関係を文字を用いた式でどのように表すのかを考えることができる。	○			○	45	52.6
数量関係	[5](1)	23	題意を読み取り、比例の関係を式で表すことができる。		○		○	65	72.0
	[5](2)	24	比例式を解くことができる。		○		○	55	69.9
	[6](1)式	25	比例の関係を式で表すことができる。		○			60	53.2
	[6](1)値	26	比例の式に数を代入して、対応する値を求めることができる。		○		○	50	62.7
	[6](2)	27	比例の関係をグラフで表すことができる。		○		○	65	60.2
	[6](3)①	28	グラフから比例の式を求めることができる。		○		○	45	45.1
[6](3)②	29	グラフ上にある点のy座標からx座標を求めることができる。	○	○			40	23.1	
数と式	[7]	30	移項の意味を理解しているか。	○		○		75	65.7
	[8](1)	31	数量を表す文字式の意味を読み取ることができる。	○				50	35.2
	[8](2)	32	具体的事象の中の数量関係を捉え、1次方程式をつくることができる。	○				50	24.5
	[8](3)鉛筆	33	1次方程式を解き、問題を解決することができる。		○		○	40	41.2
	[8](3)ボールペン	34	1次方程式を解き、問題を解決することができる。	○			○	40	41.5
	[9](ア)	35	具体的事象の中の数量関係を判断し、文字を使って表すことができる。		○		○	60	61.8
	[9](イ)	36	具体的事象の中の数量関係を判断し、文字を使って表すことができる。		○		○	40	41.7
	[9](ウ)	37	数直線や表を利用して、1次方程式をつくることができる。	○			○	40	43.0
	[9](エ)	38	1次方程式を解くことができる。		○		○	35	44.7
	[9](オ)	39	1次方程式の解の意味を理解している。	○		○	○	30	34.7
	[9](2)判断	40	1次方程式の解が問題に適しているかどうか判断することができる。	○				70	58.8
	[9](2)理由	41	1次方程式の解が問題に適さない理由を説明することができる。	○				40	25.5
目標値と市全体の平均値								61.3	57.6

	思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解
「評価の観点」別 設定通過率の平均	50.0	61.7	66.7
実通過率の平均	40.9	60.0	61.9

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



中学校1年生【数学】

通し番号	代表的な誤答例
1	
2	
3	
4	
5	
6	100
7	$25a-15$
8	
9	$-25a-15$ $25a-15$
10	$x-2$
11	-500 単位(円)を書いている
12	-0.3、-1/3、+4 の順になっている
13	-3、+3 を書いている
14	$x=3$
15	子供2人分と100円を足した
16	分母と分子を逆に書いている
17	
18	不等号が逆向き。=が抜けている(「以下」の意味が分かっていない)
19	
20	
21	
22	$3n-1$ $3n$ $2n-1$
23	$x:600=5:2$
24	
25	
26	
27	マイナスを見落として右上がりのグラフを書いている
28	$y=2x$ マイナス忘れ
29	8としている(12の2/3にしている)
30	
31	「ボールペン」だけで「代金」がない。「~の本数」としている(扱っている単位を意識できていない)
32	$120(x-2)=960$ 、 $80x=120(x-2)$
33	6本
34	4本
35	$60x$ 無答
36	$80(x+4)$ 無答
37	無答
38	無答
39	無答
40	無答
41	無答

中学校1年生 数学

(1) 領域・小問ごとの通過率

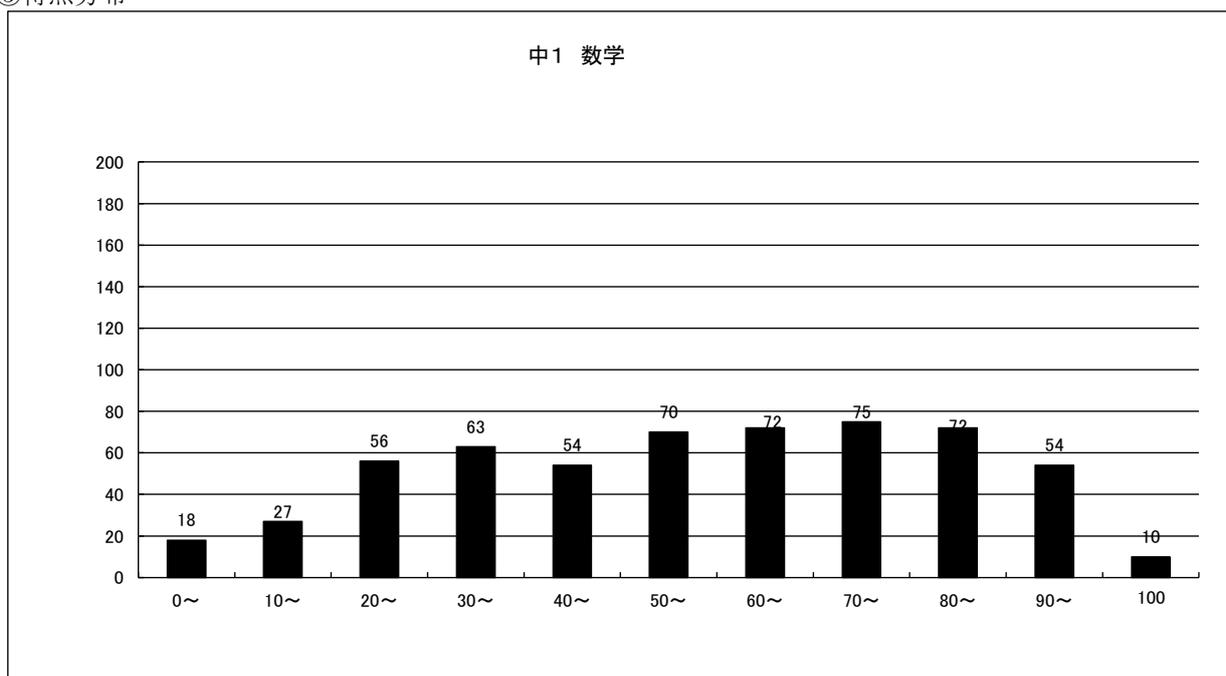
① 領域別の通過率の平均 [%]

領 域		H 2 8 中 1 年 1 月 実 施	H 2 7 中 1 年 1 月 実 施	H 2 6 中 1 年 1 月 実 施
数と式	設定通過率の平均	61.2	63.5	64.5
	実通過率の平均	56.9	60.2	55.1
数量関係	設定通過率の平均	54.3	55.8	53.6
	実通過率の平均	55.2	49.2	54.8
合計	設定通過率の平均	61.3	63.4	63.6
	実通過率の平均	57.6	59.7	56.1

② 「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
思考・判断・表現	設定通過率の平均	50.0	49.0	53.1
	実通過率の平均	40.9	50.1	43.7
技能	設定通過率の平均	61.7	63.7	64.0
	実通過率の平均	60.0	58.5	57.9
知識・理解	設定通過率の平均	66.7	79.2	68.1
	実通過率の平均	61.9	72.3	58.0

③ 得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ①全体の設定通過率を61.3%に設定したが、実通過率は57.6%と3.7ポイント低い結果となった。設定通過率50%以下の応用的な問題を15問出題し、そのうち10問が設定通過率を上回っており、応用問題への対応力が向上していることが分かる。また、無回答率についても、30%を超える問題が2問あったが、昨年度と比較して減少傾向にあり、改善が見られる。
- ②「評価の観点」別に見ると、実通過率は「知識・理解」で61.9%、「技能」で60.0%、「思考・判断・表現」で40.9%であり、「思考・判断・表現」は設定通過率を9.1ポイント下回っている。

## (3) 領域・小問別の分析

### ①数と式（大問【1】～【4】、【7】～【9】）

- ・計算問題では、10問中7問が設定通過率を上回っており、基礎的基本的な計算力の定着が伺える。本年度も負の符号を含む乗算において、符号の間違いが多かった。
- ・【2】(1)の「正負の符号の意味の理解」を問う問題は、実通過率が設定通過率を23.4ポイント下回ったが、誤答には単位の書き忘れが多かった。
- ・【2】(2)の「3つの数の大小を不等号使って表す」問題は、実通過率が設定通過率を17.5ポイント下回っており、少数と分数を含む数の大小の関係を計算できていない。
- ・【2】(4)の「1元1次方程式を解く」問題は、実通過率が設定通過率を19.6ポイント下回り、「 $X=3$ 」と計算ミスした誤答が多かった。
- ・【2】(6)の「数量を決まりに従って文字に表す」問題の実通過率は32.9%と低く、分母と分子を逆に書いている誤答が多いことから、割合の意味を理解していない生徒が多いことが伺える。
- ・【2】(8)の「数量の関係を不当式で表す」問題の実通過率は29.5%と低く、不等号の向きが逆になっているたり、「 $=$ 」が抜けている誤答が多く、「以上」の意味が理解できていない。
- ・【6】(3)②の「グラフ上のある点のy座標からx座標を求める」問題の実通過率は、23.1%で、今回の問題の中で最も低い値だった。誤答には12の3分の2と考えて「8」としたものが多く、比例定数の読み取りや、座標の数値を求めることに課題があることが分かる。
- ・【8】(1)の「数量を表す文字式の意味を読み取る」問題の実通過率は35.2%で、「～の本数」としている誤答が多く、扱っている単位を意識できていないようだった。
- ・【8】(2)の「具体的事象の中で数量関係を捉え、1次方程式をつくる」問題は実通過率が24.5%と今回のテストで2番目に低く、設定通過率を25.5ポイント下回った。誤答には、「 $120(x-2)=960$ 」や「 $80x=120(x-2)$ 」等があり、数量やその関係を文字式に表すことに大きな課題があり、教える側が捉えている以上に身に付いていないことが分かった。
- ・【9】(2)の「1次方程式の解が問題に適さない理由を説明する」問題は、実通過率が25.5%で、無回答の割合も33.6%と高く、同様の問題についての演習を重ねていく必要がある。

## (4) 今後の指導（授業）改善の視点

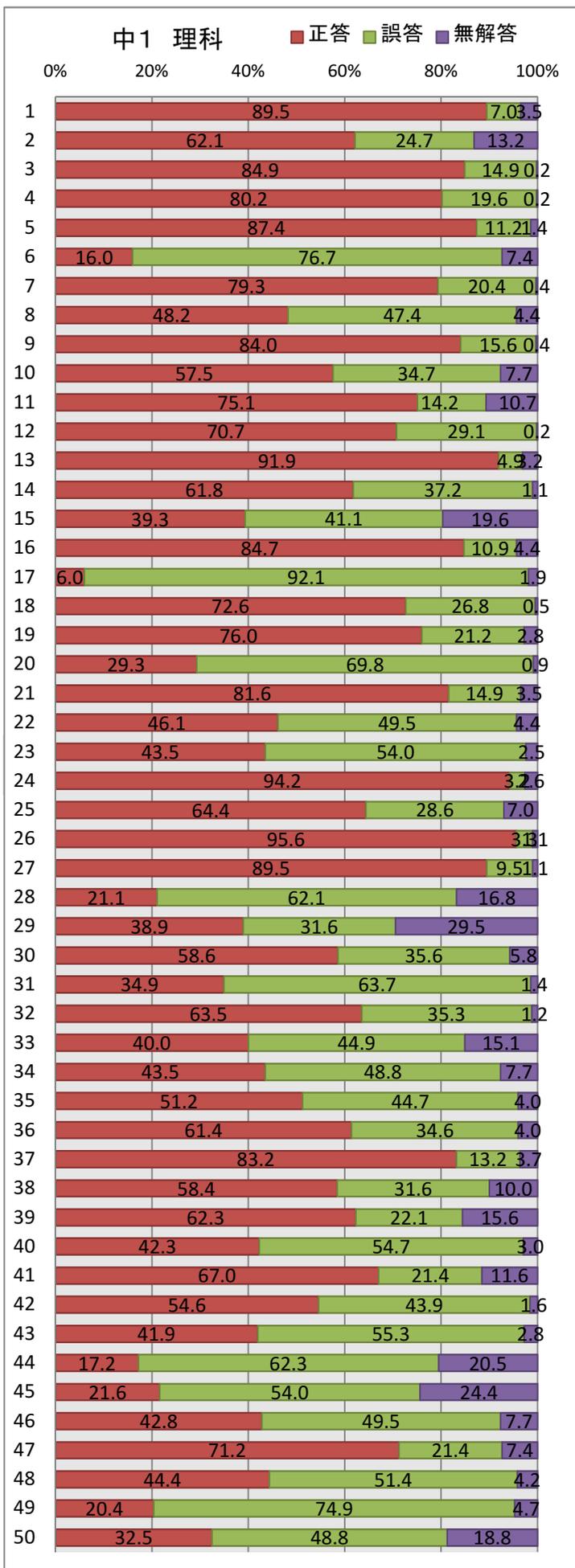
- ①「数と式」については、今後の学習内容の全領域に関わる部分なので、定着状況の低い部分については、その都度取り上げて指導したり、個人のおつまずきに合わせた指導が必要である。
- ②「数量関係」については、比例の関係の見つけ方、式の表し方、グラフ上での表し方のどこにおつまずきがあるかを把握し、理解度に応じた指導を行う必要がある。
- ③表や式、グラフなどを相互に関連付けて考察し、自分の言葉で表現する力を育成していくために、数学的な表現を用いて他者に説明するような授業を実践していく必要がある。

○問題の構成とねらい  
1学年 理科

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 50.0	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解			
生命・地球	[1](1)A	1	観察器具の名称を理解している。			○	○	80	89.5
	[1](1)C	2	観察器具の名称を理解している。			○		80	62.1
	[1](2)	3	顕微鏡を正しく操作できる。		○		○	60	84.9
	[1](3)①	4	目的にあわせて試料を集めることができる。	○	○		○	80	80.2
	[1](3)②	5	プレパラートの作り方を理解している。		○	○	○	80	87.4
	[1](3)③	6	顕微鏡を正しく操作できる。	○	○			30	16.0
	[2](1)	7	光合成に二酸化炭素が使われることを理解している。		○	○	○	70	79.3
	[2](2)	8	光合成に二酸化炭素が使われることを理解している。	○		○	○	50	48.2
	[2](3)	9	呼吸で二酸化炭素が発生することを理解している。		○	○	○	70	84.0
	[2](4)	10	呼吸で二酸化炭素が発生することを理解している。	○		○	○	50	57.5
	[2](5)	11	対照実験について理解している。			○	○	60	75.1
	[2](6)	12	屋間、植物は呼吸、光合成の両方を行うことを理解している。			○	○	60	70.7
	[3](1)	13	植物の分類名を理解している。			○	○	80	91.9
	[3](2)	14	双子葉類の葉脈、茎、根の特徴を理解している。			○		70	61.8
	[3](3)	15	単子葉類と双子葉類の子葉の違いを指摘できる。	○		○		60	39.3
	[3](4)	16	植物の分類名を理解している。			○	○	60	84.7
	[3](5)	17	植物を分類できる。		○	○		50	6.0
	[3](6)	18	シダ植物の体のつくりを理解している。			○	○	60	72.6
	[3](7)	19	胞子のうと胞子を理解している。			○	○	80	76.0
	[3](8)	20	コケ植物とシダ植物の共通の特徴を指摘できる。	○		○		60	29.3
物質・エネルギー	[4](1)	21	石灰水の性質を理解している。		○		○	80	81.6
	[4](2)	22	加熱による気体発生の有無から有機物と無機物を区別できる。	○				60	46.1
	[4](3)	23	有機物に共通の性質を指摘できる。	○		○		70	43.5
	[4](4)	24	無機物について理解している。			○	○	80	94.2
	[4](5)	25	加熱による性質の違いから物質を特定できる。	○				70	64.4
	[5](1)	26	メスシリンダーを正しく操作できる。		○		○	80	95.6
	[5](2)	27	メスシリンダーを正しく操作できる。		○		○	80	89.5
	[5](3)	28	メスシリンダーを使って正しく体積を測定できる。		○			60	21.1
	[5](4)	29	物体の密度を求めることができる。(計算)		○			50	38.9
	[5](5)	30	密度について理解し、活用できる。	○		○	○	60	58.6
	[6](1)	31	アンモニアを使って噴水をおこすしくみを理解している。	○		○		60	34.9
	[6](2)	32	指示薬の特徴を理解している。	○		○	○	60	63.5
	[6](3)①	33	実験結果から、気体の水に対する溶けやすさを判断できる。	○		○		50	40.0
	[6](3)②	34	指示薬の変化から気体の性質を判断できる。	○		○		60	43.5
	[7](1)①	35	状態変化と体積の関係を理解している。			○		70	51.2
	[7](1)②	36	状態変化と質量の関係を理解している。			○		80	61.4
	[7](2)	37	粒子モデルと状態変化の関係を理解している。	○		○	○	70	83.2
	[7](3)①	38	水の融点沸点を理解している。			○		80	58.4
	[7](3)②	39	融点沸点を理解している。			○		70	62.3
	[7](3)③	40	グラフから物質の状態を指摘できる。	○		○		70	42.3
	[8](1)	41	飽和水溶液という語を正しく理解している。			○	○	70	67.0
	[8](2)	42	溶解度曲線を読み取ることができる。	○	○		○	50	54.6
	[8](3)	43	溶解度曲線から水溶液に溶けている物質が、析出する量を求めることができる。	○	○		○	40	41.9
	[8](4)	44	質量パーセント濃度を求めることができる。	○	○			40	17.2
	[8](5)	45	質量パーセント濃度について理解し、活用できる。	○	○	○		30	21.6
	[9](1)	46	凸レンズの焦点距離について理解している。			○		50	42.8
	[9](2)	47	実像という語とその意味を正しく理解している。			○		80	71.2
	[9](3)	48	スクリーンにうつる像を正しく指摘できる。	○		○	○	40	44.4
	[9](4)	49	光学台の実験結果について正しく理解している。	○	○	○		50	20.4
	[9](5)	50	虚像の性質を正しく説明できる。	○		○		50	32.5
目標値と市全体の平均値								63	57.7

	思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解
「評価の観点」別 設定通過率の平均	54.8	58.8	64.1
実通過率の平均	44.5	54.1	58.2

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



中学校1年生【理科】

通し番号	代表的な誤答例
1	対物レンズ
2	境筒 柱筒 えんとう レボルバー
3	ア イ
4	ア
5	空気ができるから 水泡をつくらせない 泡が出るから ガラスが割れないように
6	スライドガラスをずらす 無答 倍率の記述がない 2つの視点で書けていない
7	A
8	光合成により酸素が増えた 光合成により二酸化炭素が増減した はたらきがない
9	D
10	呼吸により酸素が減少した 光合成により二酸化炭素が増えた
11	対象実験 対比実験 比較実験などの漢字の間違い
12	ア
13	よう子葉類、弁子類 無答
14	ア・エを含む
15	無答 花弁がくっついているか 維管束があるか 葉が1枚か2枚か 根毛があるかないか 平行か網目状か
16	離弁花 葉の枚数 シダ植物 花卉花類
17	イ・オを含む
18	B
19	花粉のう 花粉 種子 胞子のう
20	アまたはウを含む
21	石灰石 液体 砂糖 酸素
22	白く濁った 変化なし こげた もえた
23	Dを含む
24	無気物
25	砂糖 酸素 二酸化炭素 石灰石 塩 ペットボトル(の破片)
26	塩
27	b a
28	7.0 6.3 9
29	無答 9 7 2
30	沈む 無答 計算ミス
31	ア ウ
32	イ・ウ・アを含む
33	噴水が起こらない 中性である 無答 重い 純粋な物質 アルカリ性ではない
34	アルカリ 中
35	小さくなる 変わらない 減る
36	大きくなる 増える へる 小さくなる
37	C
38	全体を100にみて、30や40と60や80としたもの 25℃から45℃ 無答
39	無答 aとbの記入が反対
40	ウ
41	無答 漢字間違い
42	ア
43	イ
44	18.75 無答 17.75 17.5 300 30
45	無答 35 30
46	10 5 15
47	虚像 無答
48	ウ イ
49	イ ウ
50	向きが反対で小さくなっている 向きが反対で大きくなっている 無答

## 中学校1年生 理科

### (1)領域・小問ごとの通過率

#### ①領域別の通過率の平均 [%]

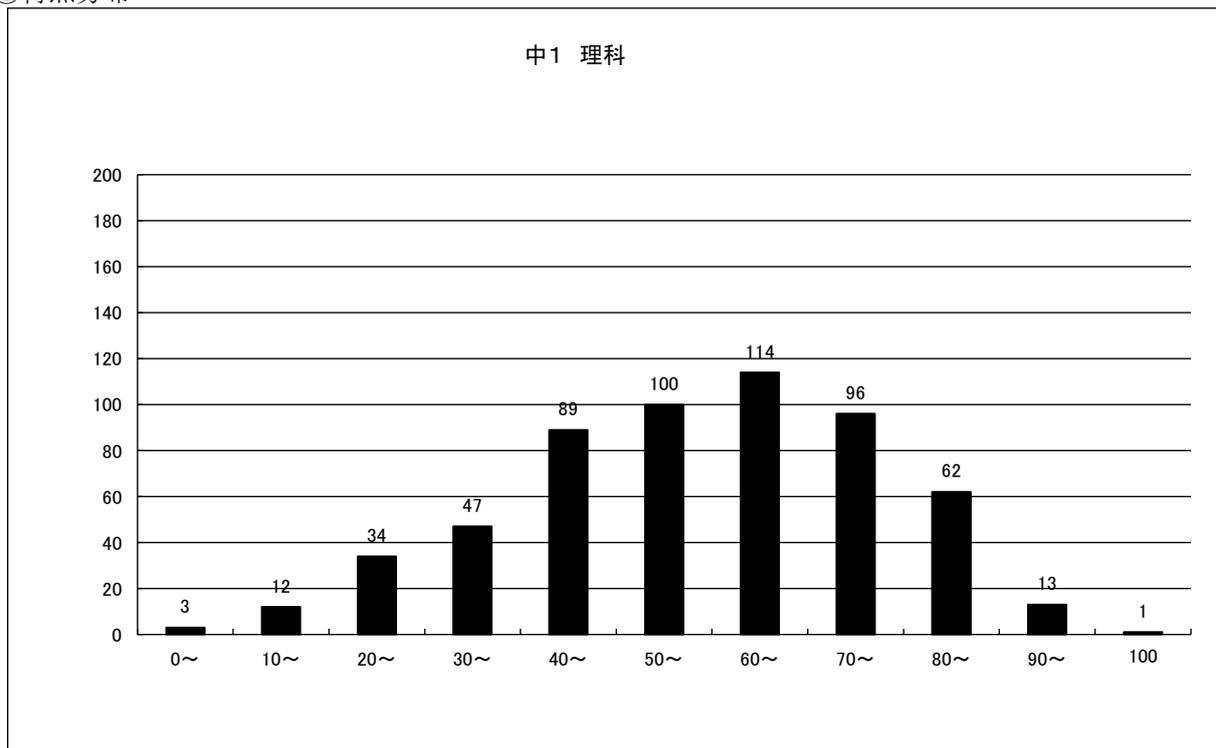
領 域		H28 中1年1月実施	H27 中1年1月実施	H26 中1年1月実施
生命・地球	設定通過率の平均	64.5	66.9	63.3
	実通過率の平均	64.8	66.3	57.2
物質・エネルギー	設定通過率の平均	62.0	57.3	63.1
	実通過率の平均	52.9	46.8	46.4
合計	設定通過率の平均	63.0	61.9	63.2
	実通過率の平均	57.7	56.1	51.6

※H24年度からは新学習指導要領の完全実施に伴い、領域名を変えたもの

#### ②「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
思考・判断・表現	設定通過率の平均	54.8	56.2	51.5
	実通過率の平均	44.5	47.5	38.8
技能	設定通過率の平均	58.8	58.7	62.8
	実通過率の平均	54.1	53.3	44.5
知識・理解	設定通過率の平均	64.1	64.1	68.0
	実通過率の平均	58.2	59.6	58.6

#### ③得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ①実通過率が設定通過率を6.3ポイント下回る結果となった。「おおむね良好」と判定された問題については、生物分野では20問中14問、化学分野では25問中10問、物理分野では5問中1問であった。全体では全50問中25問で、達成率は50%となった。
- ②観点別の実通過率では、思考判断表現が44.5%、技能が54.1%、知識理解が58.2%であった。重要語句等を答える問題についての実通過率は高いが、条件に当てはまるものをすべて選択する問題や文章で記述する問題の実通過率については低くなっていた。
- ③顕微鏡の操作方法やメスシリンダーを使って体積を測定する方法に関する問題等についての通過率が低く、基本的な実験操作や実験の意義・目的に関わる部分の理解について課題がある。

## (3) 領域・小問別の分析

- ①生物分野（大問【1】【2】【3】）
  - ・高倍率で観察するための顕微鏡の操作手順を答える問題については、実通過率が16.0%と低い結果となった。複数の手順について順を追って文章で説明することに課題がある。
  - ・植物の呼吸や光合成に関する問題については、ほぼ設定通過率を上回る結果となったが、石灰水の濁り方と光合成の働きを関連させて理由を説明する問題については、実通過率48.2%であり、複数の事象を関連させて考えることに課題が見られた。
  - ・植物の分類名を答える問題の正答率は90%を超えていたが、単子葉類と双子葉類を区別する観点に子葉の枚数を挙げることができていなかった。
  - ・離弁花類の植物を選択する問題の実通過率が6%であり、タンポポやチューリップを余計に選択してしまう誤答が目立った。実際の植物と関連させた植物の分類についての理解が不十分であると考えられる。
- ②化学分野（大問【4】【5】【6】【7】【8】）
  - ・石灰水の変化に関する複数の実験結果を記述することや、有機物に該当するものを全て選択する問題の実通過率が40%台となっており、有機物や無機物の分類についての理解が不十分であると考えられる。
  - ・密度に関する問題では、メスシリンダーの目盛りの読み方が10分の1の位までであることの理解不足や、計算に関するミスや無解答の割合の高さが目立った。
  - ・アンモニアによる噴水をおこすしくみについて選択する問題の実通過率が34.9%と低く、噴水が起こるメカニズムについての理解が不足していると考えられる。また、塩化水素が水に溶けると塩酸になることについても押さえておく必要がある。
  - ・水が氷になったときの体積と質量の変化や融点・沸点についての理解が逆であったり、曖昧になっていたりする様子が見られた。
  - ・溶解度や重量パーセント濃度に関する設問では、計算を含む問題での実通過率が20%前後と低い結果となった。
- ③物理分野（大問【9】）
  - ・凸レンズと像に関する問題の通過率は、5問中4問が50%以下であり、凸レンズと物体との位置関係と像のでき方についての総合的な理解ができていないと考えられる。

## (4) 今後の指導（授業）改善の視点

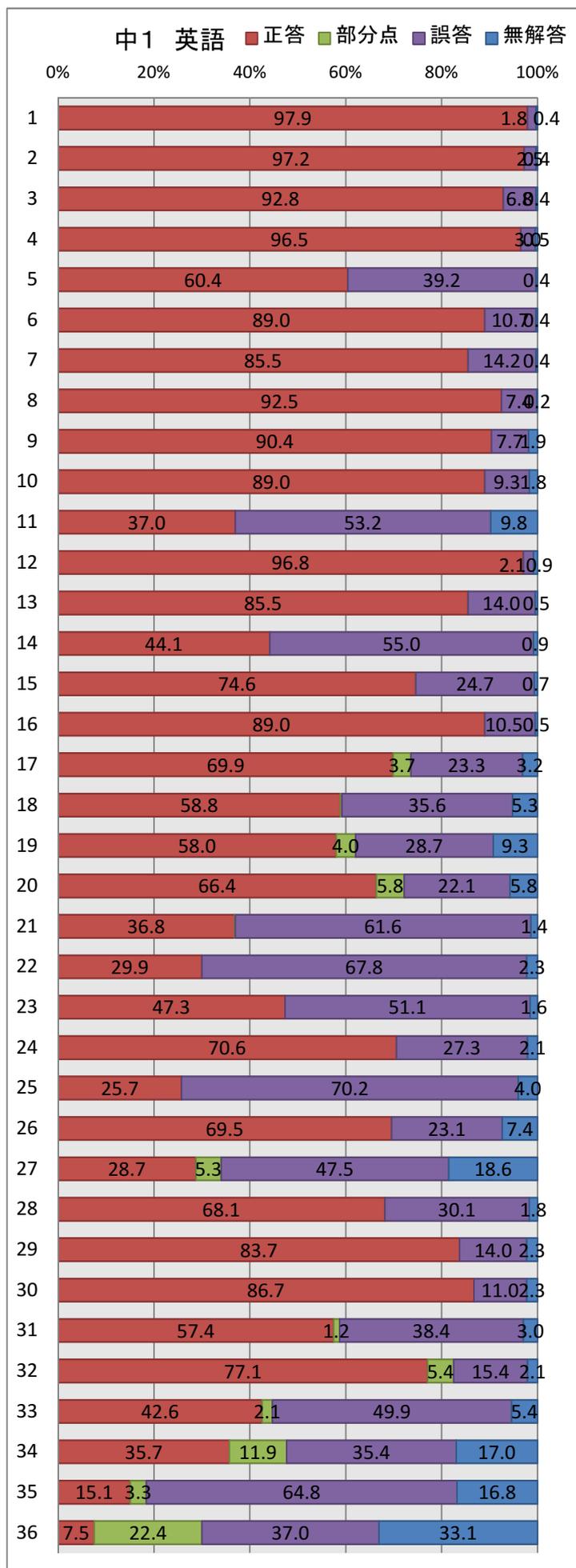
- ①実験・観察の充実
  - ・自然の事物・現象から問題を見だし、適切に課題づくりができるようにする。また、その課題解決に向けて、予想や仮説を設定し、目的意識をもって観察・実験などをおこなうようにする。
  - ・実験上の注意点や留意事項について、根拠を明確にして説明させる活動を取り入れる。
  - ・図・表・グラフなどで表された実験・観察結果を、グループ内で互いに理科学用語を適切に用いながら考察させる。
- ②日常生活への活用
  - ・日常生活や社会の特定の場面において、理科で学習した用語を用い、根拠に基づいて説明する活動を充実させる。
  - ・身の回りの現象等を既習の定理や法則を用いて科学的に考察し、説明する活動を充実させる。

○問題の構成とねらい  
1学年 英語

領域等	問題番号	通し番号	出題のねらい	評価の観点			達成率 66.7	設定 通過率 [%]	実 通過率 [%]
				表現	理解	知識・ 理解			
聞くこと	[1](1)No.1	1	質問に対して適切に応じることができる。		○		○	90	97.9
	[1](1)No.2	2	質問に対して適切に応じることができる。		○		○	80	97.2
	[1](1)No.3	3	質問に対して適切に応じることができる。		○		○	90	92.8
	[1](1)No.4	4	質問に対して適切に応じることができる。		○		○	90	96.5
	[1](2)No.5	5	短い英文を聞き、その場面を理解することができる。		○		○	60	60.4
	[1](2)No.6	6	短い英文を聞き、その場面を理解することができる。		○		○	70	89.0
	[1](2)No.7	7	短い英文を聞き、その場面を理解することができる。		○		○	80	85.5
	[1](2)No.8	8	短い英文を聞き、その場面を理解することができる。		○		○	90	92.5
	[1](3)①	9	まとまった英文を聞き、その概要を理解することができる。		○		○	60	90.4
	[1](3)②	10	まとまった英文を聞き、その概要を理解することができる。		○		○	85	89.0
	[1](3)③	11	まとまった英文を聞き、その概要を理解することができる。		○		○	35	37.0
	[1](3)④	12	まとまった英文を聞き、その概要を理解することができる。		○		○	90	97.0
読むこと	[2](1)	13	疑問詞の用法を正しく理解している。	○		○	○	75	85.5
	[2](2)	14	代名詞の用法を正しく理解している。	○		○		60	44.1
	[2](3)	15	疑問詞の用法を正しく理解している。	○		○	○	60	74.6
	[2](4)	16	一般動詞を含む疑問文の答え方を正しく理解している。	○		○	○	80	89.0
書くこと	[3](1)①	17	三人称単数現在形にともなう動詞の語形変化を理解している。		○	○	○	50	72.3
	[3](1)②	18	三人称単数現在形にともなう動詞の語形変化を理解している。		○	○	○	40	59.1
	[3](1)③	19	数字を文字で表すことができる。		○	○	○	60	60.7
	[3](1)④	20	曜日を文字で表すことができる。		○	○	○	70	70.2
読むこと	[4](1)①	21	anyの用法を正しく理解している。	○		○		50	36.9
	[4](1)②	22	人称代名詞の語形変化を正しく理解している。	○		○		50	29.9
	[4](1)③	23	重要な会話表現を正しく理解している。	○		○		60	47.3
	[4](1)④	24	疑問詞の用法を正しく理解している。	○		○		80	70.6
	[4](1)⑤	25	重要な会話表現を正しく理解している。	○		○		50	25.7
書くこと	[5](1)	26	三人称単数現在形にともなう動詞の語形変化を理解している。			○	○	50	69.5
	[5](2)	27	頻出単語を文字で表すことができる。			○		50	32.0
読むこと	[5](3)	28	内容を正しく読み取ることができる。		○	○		75	68.1
	[5](4)①	29	内容を正しく読み取ることができる。		○	○	○	80	83.7
	[5](4)②	30	内容を正しく読み取ることができる。		○	○	○	80	86.7
書くこと	[6](1)①	31	単語を並べ替え、適切に表現することができる。	○		○	○	40	58.2
	[6](1)②	32	単語を並べ替え、適切に表現することができる。	○		○	○	80	80.7
	[6](1)③	33	単語を並べ替え、適切に表現することができる。	○		○		50	43.9
	[7](1)①	34	指示された日本語の内容を英語で表現することができる。	○		○		70	43.0
	[7](1)②	35	指示された日本語の内容を英語で表現することができる。	○		○		45	17.2
	[7](1)③	36	指示された日本語の内容を英語で表現することができる。	○		○		30	21.3
目標値と市全体の平均値								64.2	64.7

	表現	理解	知識・ 理解
「評価の観点」別 設定通過率の平均	58.7	72.4	59.8
実通過率の平均	51.2	80.3	57.1

○小問ごとの正答・誤答・無解答の割合及び主な誤答例



中学校1年生【英語】

通し番号	代表的な誤答例
1	
2	
3	ア
4	ア
5	イ
6	ウ イ
7	
8	
9	
10	日本語
11	11月は書けているが、日にちが間違っている
12	
13	
14	ウ エ
15	
16	
17	like(sのつけ忘れ)
18	have
19	つづりの間違い
20	つづりの間違い
21	ク ケ
22	コ オ
23	キ ク
24	
25	ク サ シ
26	
27	つづりの間違い usually / often / always sometime(sのつけ忘れ)
28	ア イ
29	○
30	×
31	I know she.
32	ChinaのCが小文字
33	playがない itの代わりにmeが入る I can not it play itの位置の間違い
34	whoではなくてwhat thisがない girl のスペルミス
35	do youがない When do you go to bed? What time go to bed?
36	Animal is kind. animalが単数形 Kind is animal. You are kind to animals.

中学校1年生 英語

(1)領域・小問ごとの通過率

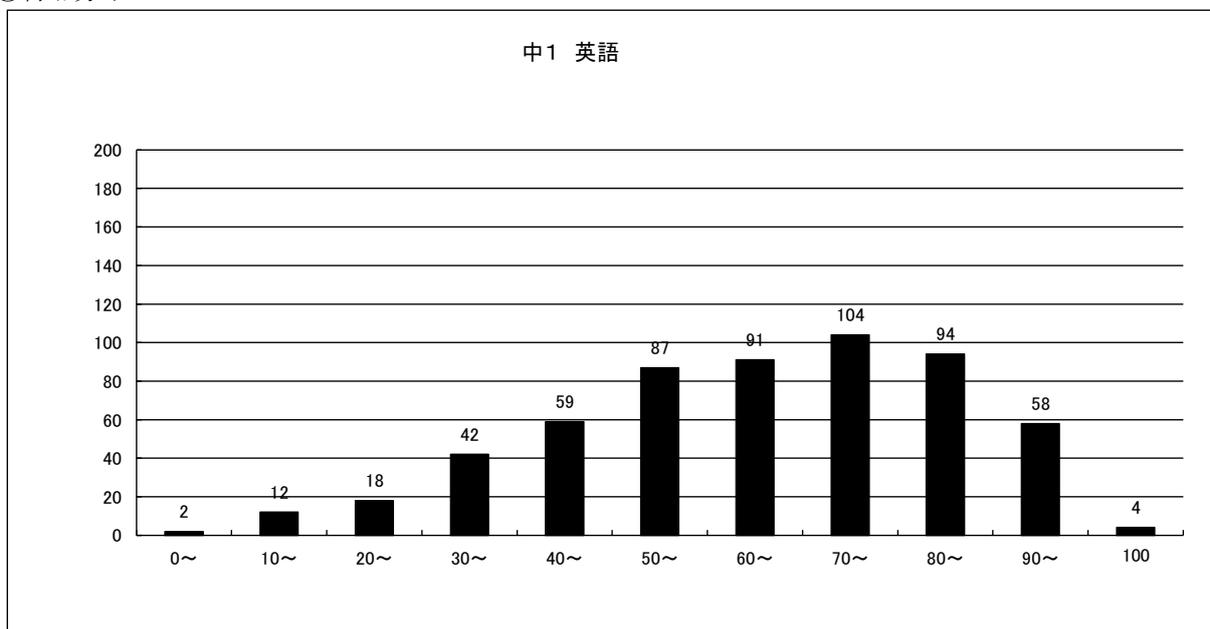
①領域別の通過率の平均 [%]

領 域		H 2 8 中1年1月実施	H 2 7 中1年1月実施	H 2 6 中1年1月実施
聞くこと	設定通過率の平均	76.7	79.2	80.0
	実通過率の平均	85.4	80.1	78.2
読むこと	設定通過率の平均	66.7	68.1	66.5
	実通過率の平均	61.8	69.3	75.7
書くこと	設定通過率の平均	52.9	50.9	47.7
	実通過率の平均	52.3	43.7	44.7
合計	設定通過率の平均	64.2	65.5	63.9
	実通過率の平均	64.7	63.7	65.9

②「評価の観点」別の通過率の平均 [%]

領 域		H28[%]	H27[%]	H26[%]
表現	設定通過率の平均	58.7	60.6	57.8
	実通過率の平均	51.2	55.7	62.9
理解	設定通過率の平均	72.4	71.3	71.3
	実通過率の平均	80.3	72.6	70.3
知識・理解	設定通過率の平均	59.8	60.2	57.9
	実通過率の平均	57.1	57.5	61.5

③得点分布



## (2) 全体的な分析と課題

- ① 全体の設定通過率の平均が64.2%に対して実通過率の平均が64.7%と0.5ポイント高い結果であり、全体的には「おおむね良好」の達成度といえる。達成率は、66.7% (24問/36問) であった。
- ② 領域別でみると、
  - ・「聞くこと」の実通過率の平均85.4%は、設定通過率の平均76.7%を8.7ポイント上回った。また、達成率は、100.0% (12問/12問) で、指導事項の定着が図られており、「良好」と判断できる。
  - ・「読むこと」の実通過率の平均61.8%は、設定通過率の平均66.7%を4.9ポイント下回った。また、達成率は、41.7% (5問/12問) で、「読むこと」の指導事項の定着に課題が見られる結果となった。
  - ・「書くこと」の実通過率の平均52.3%は、設定通過率の平均53で0.7ポイント下回った。また、達成率は58.4% (7問/12問) で、昨年より改善は見られたが、引き続き指導事項の定着に課題が見られる結果となった。

## (3) 領域・小問別の分析

- ① 「聞くこと」
  - ・領域全体としての実通過率が高かったことから、短い英文やまとまった英文の聞き取る活動が、授業の中でも取り入れられており、定着が図られていると考えられる。
  - ・大問【1】(2)の「短い英文を聞きその場面を理解する」問題で「犬が机の(上か下)にいる」ことを聞き取る問題の実通過率が60.4%だった。誤答から机の「上か下か」までを聞き取れていなかった。大問【1】(3)の「まとまった英文を聞きその概要を理解する」問題で、ALTの誕生日(11月3日)を聞き取る問題の実通過率が37%とかなり低かった。月日の聞き取りについては、誤答から特にthirdの聞き取りに課題が見られる結果となった。
- ② 「読むこと」
  - ・大問【2】(2)「代名詞の用法」についての実通過率が44.1%と低く、代名詞の用法の定着を図るための工夫が求められる。
  - ・大問【4】①「anyの用法を正しく理解している」問いについては実通過率が36.9%、②「人称代名詞の語形変化」の問いについては29.9%、⑤「会話表現を理解する」問いについては25.7%と低く、指導について工夫・改善が求められる結果となった。
  - ・大問【5】「内容を正しく読み取る」問いについては、おおむね定着が図られていた。
- ③ 「書くこと」
  - ・大問【3】①②において、「三人称単数現在形にともなう動詞の語形変化の理解」について実通過率が、設定通過率から①+22.3ポイント、②+19.1ポイントと高く、昨年度から改善が見られた。
  - ・大問【7】の「指示された日本語の内容を英語で表現する」ことについては、実通過率が3割程度であった。全体的な書く力の不足について、より具体的な指導の見直し・工夫が求められる。

## (4) 今後の指導(授業)改善の視点

- ① 4技能を効果的に活用した技能統合型の言語活動の工夫  
「書くこと」の課題解決を中心に、単元構想に基づく言語活動の改善・工夫が求められる。具体的には、基礎、基本的な単語や文法事項の着実な定着を図るとともに、英語で聞いたり読んだりした内容に基づいて、英語で書いたり、話し合ったりする技能統合型(4技能のうち2技能以上を統合的に活用)の言語活動による指導の工夫・実践の積み重ねが今後必要となる。